



第1回協議会 平成22年7月20日



埼玉県 利根保健医療圏

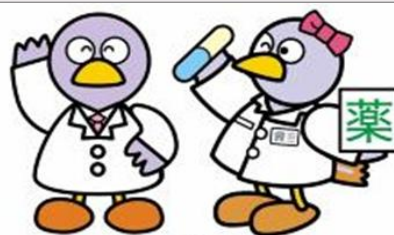


第1回作業部会 平成22年8月5日



オープニングセレモニー 平成24年7月1日

地域医療ネットワークシステム 「とねっと」の歩み



▲アレルギーあり：そば	
▲アレルギーあり：エビ・イソメ、アナフィラキシー	
患者氏名	とねっと 太郎 (トネット タロウ)
性別	男
生年月日	S15.05.15(77歳)
血液型	B(Rh+)
かかりつけ医	埼玉病院、とねっとクリニック
最新受診施設	埼玉病院(H29.10.24)、とねっとクリニック(H29.08.18)、利根クリニック(H29.05.01)
患者申請	医薬 セイブル(3回/1日：1回1錠)、グリメピリド1mg(朝1錠) (H29.04.01)
疾患	糖尿病
感状	はしか
病院情報	処方 ポルタレン
保険種別	心臓病、脳卒中、糖尿病
住所	〒340-0103 埼玉県栗原市内内町南
電話番号	0480-11-1111
緊急連絡先	とねっと 次郎(性別：子)
電話番号	090-1234-5678
緊急連絡先	とねっと 花子(性別：妻)
電話番号	050-9876-4321
医師名	田中
ADL	身体の状態：正常、寝位、自立、歩行



救急搬送 (救急車内でのタブレット参照画面)



シンポジウム (基調講演)



シンポジウム (開会セレモニー)

埼玉県利根保健医療圏医療連携推進協議会
「とねっと」システム運用期間：12年間 (H24.4~R6.3)

目次

■ 協議会長あいさつ	1
■ 埼玉利根保健医療圏の状況	2
■ 協議会設立までの経緯	4
■ 「とねっと」の概要	6
■ 埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会の構成	9
■ 協議会の経過	10
■ 「とねっと」システムの構成	14
■ 「とねっと」システムの特徴	15
■ 「とねっと」カード	16
■ 「とねっと」システムにおける医療情報の流れ（医療情報の共有・連携）	18
■ 情報共有化への対応	19
■ 「とねっと」の主な機能	20
■ 「とねっと」に参加するメリット	22
■ 病院・クリニック・歯科からの双方向連携	25
■ 調剤薬局との連携	26
■ 個人健康基盤としての「とねっと」健康記録	27
■ 健康記録サービス（アプリイメージ・Webイメージ）	29
■ 生理検査システムとの連携	31
■ 視察・取材・事例発表等の主な実績一覧	33
■ 「とねっと」の参加状況（令和6年3月31日現在）	35
■ 「とねっと」の活用状況（救急搬送：令和6年3月31日現在）	36
■ 救急タブレットの活用事例	37
■ 「とねっと」の住民等へのPRチラシ	39
■ 「とねっと」システムの評価	40
■ 小学校教材への採用	41
■ 国からの評価（モデル事例）	42
【参考】	
(1) 「とねっと」整備費等に係る埼玉県等からのご負担額（平成22年度～令和6年度）	43
(2) 協議会解散に至った理由	44

協議会長あいさつ

協議会長を仰せつかっております 加藤です。

地域医療ネットワークシステム「とねっと」は、本年3月の協議会総会において、構成市町の財政難などの理由により令和5年度末で事業終了とし、令和6年度は、前年度の決算監査や財産処分などの事業を実施する必要性から清算事業期間として6か月設け、本年9月30日をもって協議会を解散することが決定しております。

この「とねっと」につきましては、先生方のご指導・ご理解をいただきながら、平成24年4月1日から令和6年3月31日までの12年間の事業運用でありました。この間、厚生労働省や総務省からIT利活用のモデル事例への採用や北海道から九州まで全国100を超える厚生労働省、総務省をはじめ、大学（院）、医師会、都道府県等からの視察・取材等もありました。

7市2町が医療課題について、主体的に運営するということは行政史上初めてであり非常に稀な事業でありました。私は、9月30日で協議会が解散に至るということは、本当に残念に思っております。

今後、「とねっと」の12年間について国や研究機関に精査していただき、マイナンバーなどのさまざまな分野にて役に立つことを期待し、この度、パンフレット「とねっと」の歩みを作成いたしました。ご高覧を賜れば幸いです。

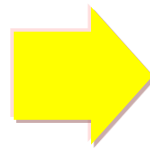
協議会等の委員の皆様には、これまで「とねっと」にご理解・ご協力を賜りましたことに改めて御礼を申し上げますとともに、今後のご健勝にてのご活躍を心からご祈念申し上げ、あいさつとさせていただきます。



埼玉利根保健医療圏の状況

- 利根保健医療圏（7市2町）は、県東北部に位置し、面積約447平方キロメートル、人口約64万人を有する地域である。
（埼玉県の面積：約3,798平方キロメートル 埼玉県の人口：約734万人）
- 本県の医師数は、人口10万人当たり180.2人で全国で最下位となっている。その中で、利根保健医療圏は極めて少ない。

埼玉県全体



圏域の基本指標

(単位：人)

人口総数 **635,455人** (2020年)

年齢3区分別人口

利根圏域 埼玉県

0～14歳 69,272人 (10.9%) [11.9%]

15～64歳 366,803人 (57.7%) [61.1%]

65歳～ 199,380人 (31.4%) [27.0%]

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
	国政調査	将来推計人口					
圏域内人口	635,455	618,049	594,907	568,522	539,773	510,846	483,766
高齢化率	31.4%	33.3%	34.6%	36.1%	38.9%	40.4%	41.4%
65歳以上人口	199,380	205,551	205,628	205,351	209,761	206,572	200,499
(65～74歳)	104,246	86,688	76,346	78,047	87,663	86,495	74,133
(75歳以上)	95,134	118,863	129,282	127,304	122,098	120,077	126,366

※ 2020年は国政調査：2025年以降は、国立社会保障・人口問題研究所（2023年12月推計）

埼玉県の医師の状況 (R4)

(単位：人)

	医師数	全国順位	10万人 当たり	全国順位
埼玉県	13,224	7位	180.2	47位
東京都	45,562	1位	324.6	5位
神奈川県	20,588	3位	223.0	40位
千葉県	13,097	8位	209.0	45位
茨城県	5,737	15位	202.0	46位
群馬県	4,465	22位	233.4	37位
栃木県	4,742	18位	248.4	32位
全国	327,444		262.1	
【参考】徳島県	2,363	40位	335.7	1位

(単位：人)

種別	平成24年 医師数 (人)	令和4年		平成24年→令和4年	
		医師数 (人)	10万人 当たり 医師数 (人)	増加数 (人)	増加率 (%)
埼玉県	10,688	13,224	180.2	2,536	23.7
南部	1,022	1,260	156.0	238	23.3
南西部	746	1,010	138.2	264	35.4
東部	1,568	1,948	169.0	380	24.2
さいたま	2,005	2,670	199.3	665	33.2
県央	692	948	179.1	256	37.0
川越比企	1,678	1,907	241.2	229	13.6
西部	1,351	1,744	227.0	393	29.1
利根	809	899	142.7	90	11.1
北部	672	703	141.6	31	4.6
秩父	145	135	147.4	▲10	▲6.9

※ 出典：kobaton.med（コバトンドットメド）

協議会設立までの経緯 1 / 2

私たちの住む埼玉県東部の「利根保健医療圏」は、平成21年頃、人口あたりの医師数が県内で最も少ない地域であった。また、医療環境は、地域偏在や診療ごとの需給不均衡による医師不足に加え、看護師も不足し、年々厳しくなっていた。こうした中、中核病院へ患者が集中することにより、医師や看護師をはじめ、さまざまな医療従事者への負担が大きく、中核病院での最適な医療サービスが提供できなくなっている。

一方、長寿社会の進展とともに、住民の医療問題への関心はますます高まっており、安心して健やかな生活を送ることができるよう住民を見守り支援する地域医療の役割は一層大きく、重要な課題である。

そこで、利根保健医療圏内の医師会長、中核病院長と9市町（行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町）の首長などがこの解決に向け「埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会」を設置し、かかりつけ医を中心とした日常的な医療を基盤としながら、地域の医療機関が役割を分担し、連携することによって地域全体で市民の医療を完結する「地域完結型医療」を目指し、IT技術を活用して取り組むこととした。

地域医療ネットワークシステム（愛称：※とねっと）は、国の地域医療再生臨時特例交付金を活用して構築し、中核病院、病院、診療所、画像診断施設、臨床検査施設がインターネット回線を通じてデータセンターで医療データを共有し、治療に役立てていくものである。108の医療機関が参加して、平成24年4月から試行、同年7月から本稼働した。

この仕組みに参加希望した住民には「とねっとカード」を無料で配布し、受診の際にカードを提出すれば、医療データの共有によるかかりつけ医の病院・診療所と地域の中核病院との連携が図れる。さらに、救急車には「とねっと」のデータを取り出せる専用のタブレット端末を配備し、救急措置に必要な患者の病歴、薬の処方、検査値など瞬時に参照することによって、適切な措置と救急搬送の迅速化に活用できる。

また、平成30年4月からは、「新とねっと」として、クラウド型に移行し、医師や利用者に活用され、かつ、「診療に役立つ有益なシステム」「住民の医療に対する安心が得られるシステム」へと改善を図り、歯科医療機関、調剤薬局も新たに加わり、更に、平成31年4月からは、利根保健医療圏域外の住民、医療機関、調剤薬局も参加できるよう拡大した。

そして、「とねっと」は、令和4年度末がシステム業者との契約満了となることから、当協議会としては、埼玉県の補助金を活用し、このシステムを令和5年度・令和6年度の2年間延長し、令和7年度から更新することとしていた。

一方、構成市町では、財政難をはじめ、圏域の拡大の難しさ、参加医療機関や住民の患者数の伸び悩みなどの事情により、退会の意向を示す市町が相当数あった。

こうしたことを踏まえ、当協議会では、協議会の承認を得て、参加住民や医療機関等の皆様への周知や事業終了に向けた財産処分などの対応等も考慮した上で、令和5年度の1年間延長し、令和5年度末（令和6年3月31日）で事業を終了することとし、更に、令和6年度に前年度の決算監査や財産処分などの事業を実施する必要があることから、清算事業期間（6か月）を設け、令和6年9月30日をもって終了とし、埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会規程第35条の規定により、当協議会を解散することとした。

※ 「とねっと」とは、埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワークシステムの愛称である。

とね ⇒ 「利根保健医療圏」から

ねっと ⇒ 「ネットワークシステム」から

「とねっと」の概要 1 / 3

【参加施設数】 136施設（中核施設10、病院・診療所73、歯科医療機関8、調剤薬局35、検査施設6、圏域外医療機関4）

【参加住民数】 35,697人（うち圏域外住民52人）＊令和6年3月31日現在

【システムの特徴】

- ・住民（予防医療の視点から、患者に限らず、健康な方も対象／食物アレルギー対策を反映し、小児から高齢者まで幅広い層の加入）を中心に据えたシステム
- ・「とねっと」カードを持たせ、病診・病病連携に限らず、歯科・調剤薬局との連携、急性期（救急現場での対応）や慢性期（糖尿病連携パス）、本人の入力も可能な健康記録など多方面での活用を図っているシステム

○H21. 6 国において地域医療再生臨時特例交付金制度の創設

○H21. 10 埼玉県あてに地域医療再生計画への提案（加須市・加須医師会共同）

○H21. 11 埼玉県が「埼玉利根保健医療圏における地域医療再生計画」を国に提出

○H22. 1 国が「埼玉利根保健医療圏における地域医療再生計画」を採用

○H22. 7 埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会 設立

＜組織構成＞ 協議会、作業部会、システムWG、行政連絡会議等をもって構成

○H24. 3 協議会事務局設置（埼玉県加須保健所内）

○H24. 4 「とねっと」試行運用（H24. 4～H24. 6：3か月間）⇒ システム内容は、本運用と同様

○H24. 7 「とねっと」本格運用（H24. 7～H28年度の5年間 H29年度1年間延長）＊NTTデータ

○構築費・保守費 ⇒ 地域医療再生臨時特例交付金の活用、県立病院からのご負担等

○事務局費・システム事業費 ⇒ 構成市町・参加医療機関（医科）のご負担等



「とねっと」の概要 2/3

○H27～H28 埼玉県、構成市町（消防を含む。）と約1年6か月の協議を経て、更新事業の合意

○H28. 5. 30 厚生労働大臣等への要望（財政支援）

○副大臣、政務官、事務次官、審議官、官房長、総括審議官、医政局長

○H29. 12. 19 厚生労働大臣への要望（発展に向けた引き続きの支援）、新「とねっと」の機能説明

○加藤厚生労働大臣説明（大臣室：約35分）

○H30. 4 新「とねっと」運用（H30～R4年度の5年間 R5年度1年間延長）*NEC「サーズ化」の実施

○更新費 ⇒ 地域医療介護総合確保基金の活用

○保守費（利用料） ⇒ 構成市町、県病院局（県立病院機構）のご負担

*NECからの提案を受け5年間は無料、R5年度のみのご負担

○事務局費・システム事業費 ⇒ 構成市町、参加医療機関等のご負担

○H31. 4 「とねっと」の対象範囲の拡大（圏域外の医療機関、住民の参加可）

○負担金 医療機関（病院）20,000円、調剤薬局10,000円、住民500円（ICカード代等）

○R3～R4 埼玉県、構成市町との更新事業の協議

○R4. 9 行田市、羽生市、久喜市、蓮田市、白岡市、宮代町 退会希望

○R4. 12 加須市 退会希望

○R5. 3 協議会解散の意向決議

○R6. 3 協議会解散の承認



OR6. 3 これまでの国等の評価・視察・取材等

- 厚生労働省や総務省から、ITネット利活用の先行モデル事例（好事例）として評価
- 北海道から九州までの全国100を超える厚生労働省、総務省、内閣府、経済産業省、大学（院）、医師会、都道府県、NHKなどのマスコミ等の視察・取材
- 小学校5年生 社会科資料集に掲載〔（株）光文書院、（株）新学社〕
- 厚生労働省での「救急医療体制等のあり方に関する検討会」での事例発表
- 厚生労働省での「重症心身障害児者の医療情報等共有検討会」での事例発表
- 厚生労働省での「在宅医療・救急医療連携セミナー事業」での事例発表 など

OR6. 3 「とねっと」事業終了

OR6. 4 協議会の財産処分等の清算事業（4月1日～9月30日）

OR6. 9. 30 埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会 解散

- ・システム運用期間 12年間（H24. 4～R6. 3）
- ・地域医療再生計画への提案～協議会解散まで 15年3か月（H21. 6～R6. 9）
- ・会議・医師会等への説明会開催回数（H22. 7. 20～R6. 9. 30） 417回（月平均：2. 43回）



埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会の構成

令和6年3月31日現在

協議会

(医師会)

行田市医師会（令和2年3月末退会）、北埼玉医師会、加須医師会、南埼玉郡市医師会、北葛北部医師会

(歯科医師会)

北埼玉歯科医師会、埼玉葛歯科医師会

(薬剤師会)

加須市薬剤師会、羽生市薬剤師会、久喜白岡薬剤師会、幸手薬剤師会

(行政)

行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町

(中核病院等)

済生会加須病院、新久喜総合病院、東埼玉総合病院、土屋小児病院、羽生総合病院、東埼玉病院、蓮田病院（令和5年3月末退会）、北埼玉医師会立メディカルセンター、加須市医療診断センター（令和5年3月末退会：廃院）

(埼玉県)

加須保健所、幸手保健所

(監事)

加須市代表監査委員、久喜市代表監査委員

作業部会

・ヒューマンネットワーク担当部会

・ITネットワーク担当部会 —— システムワーキンググループ

行政連絡会議（7市2町の担当課長）

協議会の経過

年度	月日	実施内容
平成21年度	11月6日	埼玉県が「埼玉県利根保健医療圏における地域医療再生計画」を国に提出
	1月29日	国が「埼玉県利根保健医療圏における地域医療再生計画」を採用
平成22年度	7月20日	第1回協議会総会の開催 埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会の設置
		同協議会に「ヒューマンネットワーク担当部会」と「ITネットワーク担当部会」を設置
	8月5日、20日	ヒューマンネットワーク担当部会とITネットワーク担当部会の合同部会を開催
	9月10日	外部講師を招いての意見交換（今後の議論の方向性等）
		・国のIT医療政策の第一人者 東京医科歯科大学大学院 田中教授
		・国の地域医療再生計画に係る有識者会議委員長 自治医科大学 梶井教授
	8月5日～	利根地域医療連携連絡協議会（圏域の行政担当課長会議）を月1～2回程度必要に応じて開催
	10月21日	システムワーキンググループ設置（以後、月1～2回開催）
	11月30日	第2回協議会総会の開催（システムの方向性の確認・決定）
	2月15日	第3回協議会総会の開催（ユースケースの確認・決定）
平成23年度	6月6日	第4回協議会総会の開催（ネットワークシステムの概要）
	7月19日～	公募によるプロポーザル方式で構築業者を選定
	8月22日	第5回協議会総会の開催（契約の承認、協議会の権利能力なき社団への移行等）
	11月15日	第1回協議会臨時総会の開催（システムの運用・費用負担・愛称等・県立病院の参加）
	1月31日	第2回協議会臨時総会の開催（追加契約、費用負担、事務局運営、システム運用、参加募集）
	2月10日～	参加医療機関の募集受付開始（～3月15日）、住民・患者の参加周知
	3月1日～	住民・患者の募集受付開始
	3月17日	地域医療ネットワークシンポジウムの開催（パストラルかぞ） 約230人参加
	3月27日	第3回協議会臨時総会の開催（参加医療機関の状況、契約、事業計画及び予算、規程）

協議会の経過 2 / 4

年度	月 日	実 施 内 容
平成24年度	4月1日	システムの試行運用開始
	6月26日	第1期協議会通常総会の開催（平成23年度決算等）
	7月1日～	システムの本格稼働、オープニングセレモニー開催
	8月20日	参加登録者5,000人を超える
	10月19日	第4回協議会臨時総会の開催（普及・啓発、第2期募集、シンポジウム、個人情報保護方針）
	1月29日	第5回協議会臨時総会の開催（普及・啓発、契約、第2期募集、シンポジウム）
	3月23日	地域医療ネットワークシンポジウムの開催（久喜総合文化会館） 約280人参加
	3月25日	参加登録者10,000人を超える
	3月29日	第6回協議会臨時総会の開催（平成25年度事業計画及び収支予算について等）
平成25年度	6月21日	第2期協議会通常総会の開催（平成24年度決算等）
	8月27日	第7回協議会臨時総会の開催（[新]埼玉県救急医療情報システムと「とねっと」の接続等）
	8月30日	県立がんセンターの参加により、参加医療機関等 119となる。
	11月12日	第8回協議会臨時総会の開催（平成26年度以降の費用負担について等）
	12月18日	参加登録者15,000人を超える
	1月14日	第9回協議会臨時総会の開催（普及・啓発、シンポジウムなど）
	3月8日	地域医療ネットワークシンポジウムの開催（幸手市北公民館） 約180人参加
	3月17日	第10回協議会臨時総会の開催（平成26年度事業計画及び収支予算について等）
平成26年度	5月30日	参加登録者20,000人を超える
	6月17日	第3期協議会通常総会の開催（平成25年度決算等）
	11月26日	協議会総会の書面表決（監事の選任について、平成26年度地域医療ネットワークシンポジウムについて）
	3月7日	地域医療ネットワークシンポジウムの開催（羽生市産業文化会館） 約200人参加
	3月17日	第11回協議会臨時総会の開催（平成27年度事業計画及び収支予算について等）
平成27年度	6月18日	参加登録者25,000人を超える
	7月30日	第4期協議会通常総会の開催（平成26年度決算等）
	3月5日	地域医療ネットワークシンポジウムの開催（行田市文化センターみらい） 225人参加
	3月15日	第12回協議会臨時総会の開催（平成28年度事業計画及び収支予算について等）

協議会の経過 3 / 4

年度	月 日	実 施 内 容
平成28年度	7月25日	第5期協議会通常総会の開催（平成27年度決算等）
	1月31日	第13回協議会臨時総会の開催（平成29年度費用負担等）
	2月25日	地域医療ネットワークシンポジウムの開催（蓮田市総合文化会館「ハストピア」） 167人参加
	3月28日	第14回協議会臨時総会の開催（平成29年度事業計画及び収支予算について等）
平成29年度	6月13日	第15回協議会臨時総会の開催（平成30年度からのシステム更新について等）
	8月1日	第6期協議会通常総会の開催（平成28年度決算、システム更新業務委託契約締結の承認等）
	11月10日	参加登録者30,000人を超える
	1月30日	第16回協議会臨時総会の開催（歯科医療機関、調剤薬局の協議会等への協議会委員としての参画等について）
	2月24日	地域医療ネットワークシンポジウムの開催（杉戸町生涯学習センター） 264人参加
	3月20日	第17回協議会臨時総会の開催（平成30年度事業計画及び収支予算等について）
平成30年度	4月1日	新システムの運用開始
	7月31日	第7期協議会通常総会の開催（平成29年度事業報告及び収支決算等について）
	3月2日	地域医療ネットワークシンポジウムの開催（宮代町 日本工業大学「学友会館」） 131人参加
	3月27日	第18回協議会臨時総会の開催（平成31年度事業計画及び収支予算等について）
令和元年度	7月30日	第8期協議会通常総会の開催（平成30年度事業報告及び収支決算等について）
	3月31日	第19回協議会臨時総会 ※書面表決（令和2年度事業計画及び収支予算等について）
令和2年度	10月14日	第9期協議会通常総会の開催（令和元年度事業報告及び収支決算等について）
	3月31日	第20回協議会臨時総会 ※書面表決（令和3年度事業計画及び収支予算等について）
令和3年度	10月19日	参加登録者35,000人を超える
	12月22日	第10期協議会通常総会の開催（令和2年度事業報告及び収支決算等について）
	3月29日	第21回協議会臨時総会の開催（令和4年度事業計画及び収支予算等について）
令和4年度	9月7日	第11期協議会通常総会の開催（令和3年度事業報告及び収支決算等について）
	1月24日	第22回協議会臨時総会の開催（令和5年度以降の「とねっと」システムのあり方について）
	3月28日	第23回協議会臨時総会の開催（令和5年度事業計画及び収支予算（案）について）

年度	月 日	実 施 内 容
令和5年度	10月17日	第12期協議会通常総会の開催（令和4年度事業報告及び収支決算等について）
	3月26日	第24回協議会臨時総会の開催（協議会の解散等について）
令和6年度	6月12日	第13期協議会通常総会の開催（令和5年度事業報告及び収支決算等について）
	4月～9月	清算事業（財産処分等）
	9月30日	埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会の解散

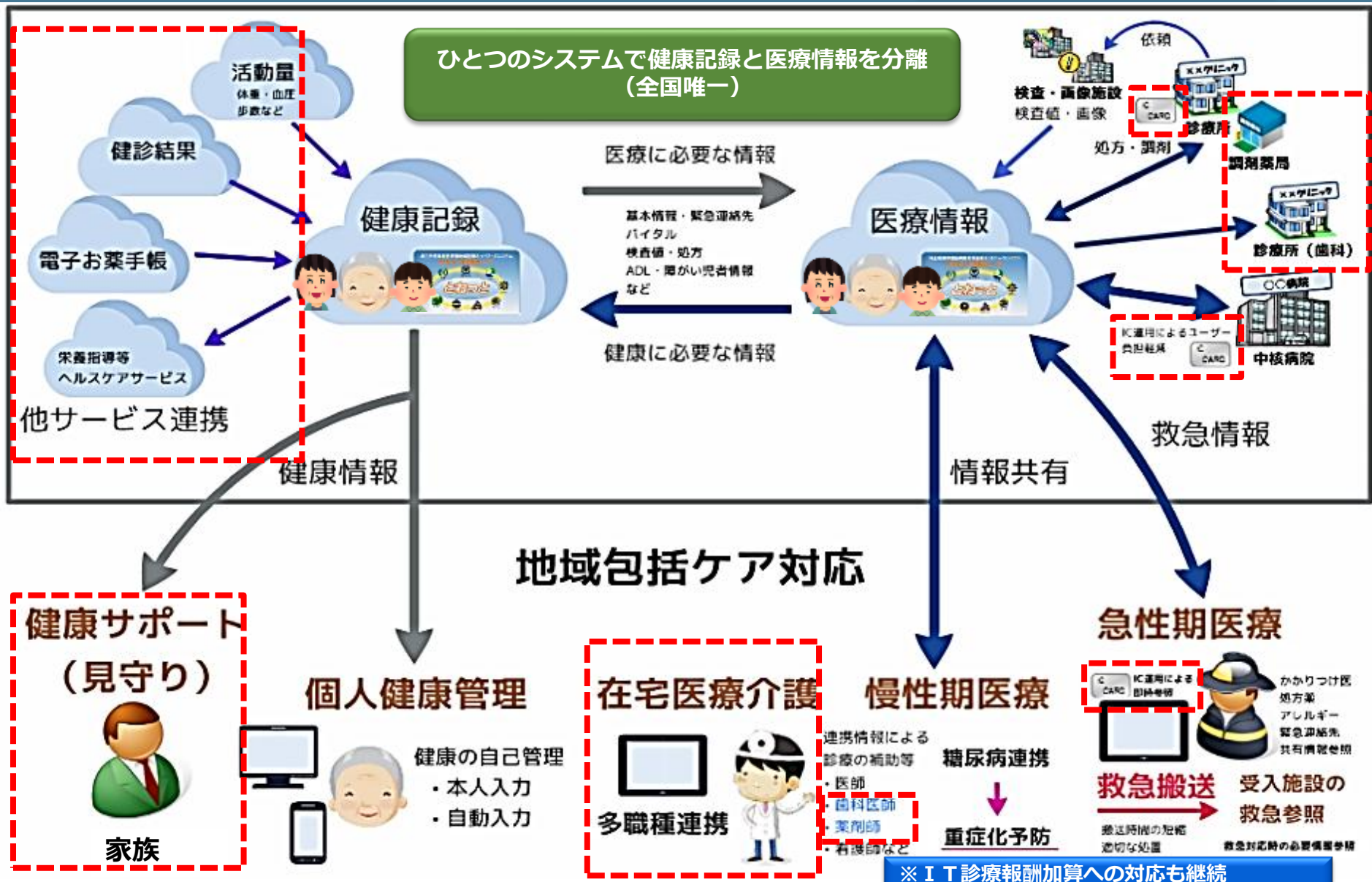
※ 会議等の開催状況 417回（令和6年9月30日現在：月平均2.43回）

- ・ 協議会（通常総会・臨時総会） 42回
- ・ 作業部会（ヒューマン、ITネットワーク担当部会） 70回
- ・ システムワーキンググループ 115回
- ・ 行政連絡会議（7市2町の担当者課長、部長、副市（町）長、市（町）長等） 120回
- ・ 医師会等説明（46回）、救急担当課長等会議（10回）、臨床検査施設会議（9回）、歯科医師会説明会（3回）、薬剤師会説明会（2回）

「とねっと」システムの構成

追加機能

「とねっと」は機能充実



「とねっと」システムの特徴

住民（予防医療の観点から、患者に限らず、健康な方も対象／食物アレルギー対策を反映し、小児から高齢者まで幅広い層の加入）を中心に据えたシステム（住民と連結）で、「とねっと」カードを持たせ、病診・病病連携に限らず、歯科・調剤薬局との連携、急性期（救急現場での対応）や慢性期（糖尿病連携パス）、本人の入力も可能な健康記録など多方面での活用を図っていること。

主な機能

① 病院、診療所との連携(病院・病病連携：質の高い医療の提供)

- ・かかりつけ医と中核病院等をITを活用し診療情報の共有化（双方向化）

② 歯科医療機関、調剤薬局との連携（患者の医療情報を歯科・調剤薬局も活用）

③ 検査予約（24時間、MRI・CT等の検査予約が可能） * 診療予約も実装

④ 救急現場での患者情報参照（救急搬送時間の短縮、適正な搬送先の選定）

- ・救急車内にタブレット端末を配置し、患者の医療情報を医師に伝達、患者の迅速な措置

⑤ 糖尿病連携パス

- ・糖尿病専門医とかかりつけ医とによる患者の重症化予防や医療費の適正化

⑥ 「とねっと」健康記録（予防医療：障害手帳の所持情報、介護度・自立度・寝たきり度の本人入力も可）

- ・PCやスマホ等の端末を利用し、住民・患者による体重、血圧や血液検査結果等による健康管理

⑦ 「とねっと」カードの発行

- （IC化により、救急搬送や紐付け時間の短縮：かかりつけ医への定着・住民の安心感）

「とねっと」カード



「とねっと」カードは、地域医療ネットワークシステムに同意した住民に発行されます。医療機関を受診する際に、「とねっと」カードを提示することで、医療機関にて、情報参照及び登録が行えるようになります。

(参加医療機関を受診した場合に限ります。)



かかりつけ医カードID : 9999-9999

氏 名 : トネ タロウ

性 別 : 男

生年月日 : 昭和99年1月1日

医療情報の共有を希望する
「とねっと」参加医療機関に
このカードを提示ください。

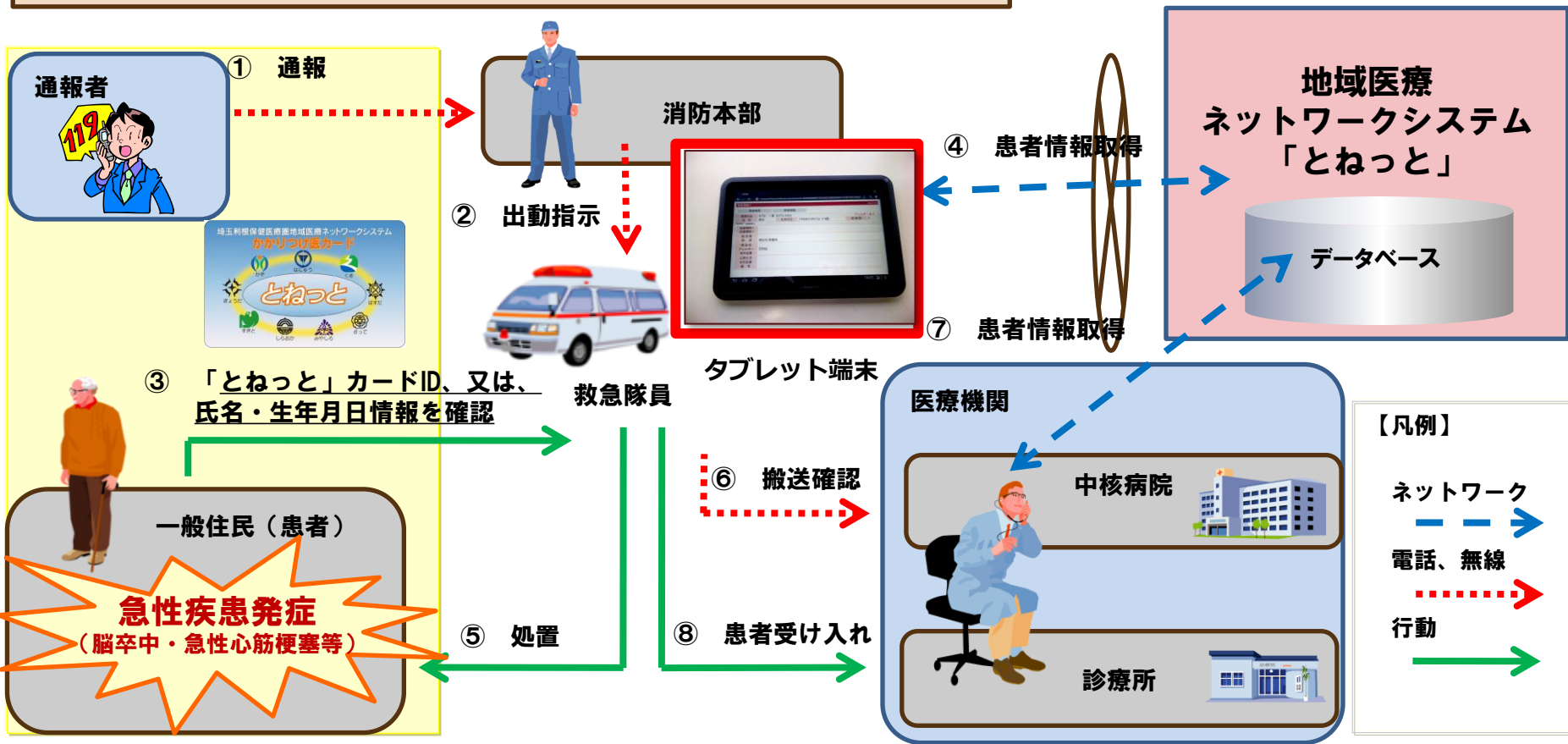
ICチップ[®]

このカードを拾われた方は、
埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会
☎0480-63-0003へご連絡ください。

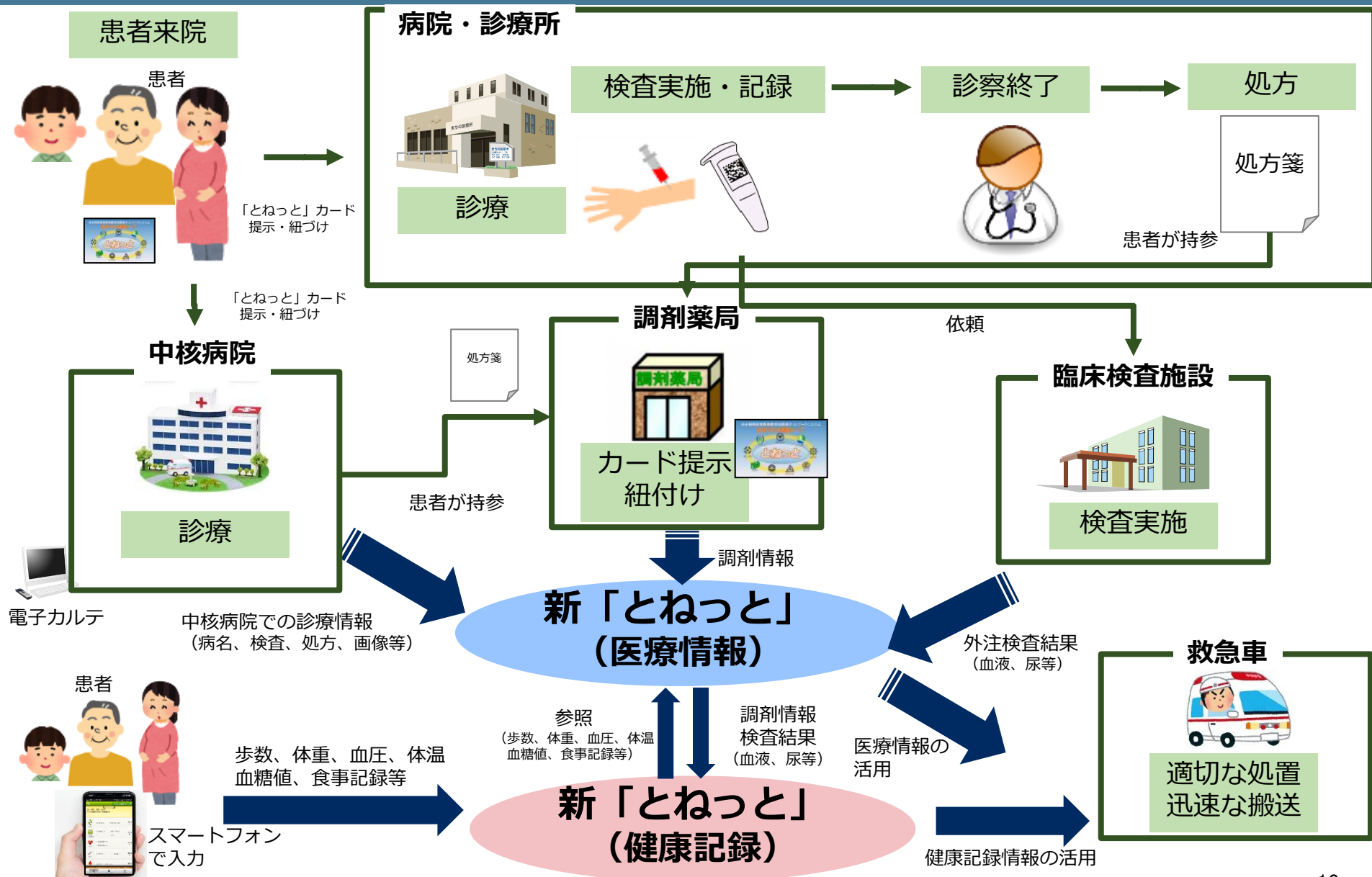
「とねっと」カード ～救急時の活用例～

「とねっと」カードは、地域医療ネットワークシステム「とねっと」に同意した住民に発行されるもので、システムに保存された患者情報を参照するためのカードです。救急時には救急隊員がこのカードを活用し、専用のタブレット端末を利用して救急に必要な患者情報を取得することにより、救急患者の迅速な処置や搬送に役立てることができます。

「とねっと」カードを活用した救急患者搬送支援イメージ



「とねっと」システムにおける医療情報の流れ（医療情報の共有・連携）



情報共有化への対応



「とねっと」カードを提示することで、「とねっと」に参加している、どの施設からも診療情報の共有が可能です。

【2008/07/01】	漢方薬 聖手神効 中品 40粒	特長
Rp.01 2008/07/01 - 2008/08/04	ミカドフィン 錠 200mg 3T	
	セルベックスカプセル 50mg 3Cap	
	1日3回 朝食後	35日
Rp.02 2008/07/01 - 2008/07/01	セルタッチ 錠行刺 6粒/錠 36粒	
	1日1~2回 食前・食後	

クリックすることで詳細表示

処方	注	検査	画像	読影レポート	ノート
処方	注	検査	画像	読影レポート	ノート

	A 病院							B 病院			C クリニック		
2007	01/29(月)	01/30(火)	01/31(水)	02/01(木)	02/02(金)	02/03(土)	02/04(日)	02/05(月)	02/06(火)	02/07(水)	02/08(木)	02/09(金)	02/10(土)
処方													
注													
検査													
細菌検査													
画像													
読影レポート													
ノート													

同じ形式で情報共有

A病院

B病院

Cクリニック



急性期医療（救急搬送）

救急搬送先情報	
救急搬送先名	とねっと 太郎 (トネット タロウ)
住所	〒115-0051 東京都港区赤坂1-1-1
電話番号	03-XXXX-XXXX
診療科目	内科、外科、小児科、産科、皮膚科、泌尿科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科
救急搬送先名	とねっと 次郎 (トネット タロウ)
住所	〒115-0051 東京都港区赤坂1-1-1
電話番号	03-XXXX-XXXX
診療科目	内科、外科、小児科、産科、皮膚科、泌尿科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科



適切な救急搬送を行うための情報参照

医療情報

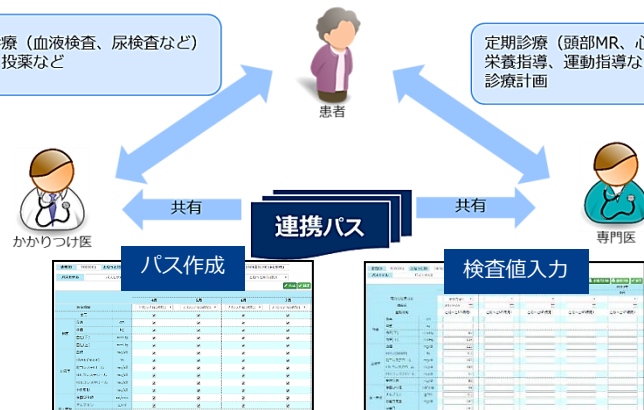
健康記録

- ・ 救急搬送時間の短縮
- ・ 適正な受入医療機関の選定

慢性期医療（糖尿病連携）

日常診療（血液検査、尿検査など）
治療、投薬など

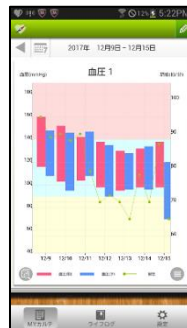
定期診療（頭部MR、心エコー、CTなど）
栄養指導、運動指導など
診療計画



- ・ 検査値データから糖尿病重症化予防の実施
- ・ 専門医とかかりつけ医による二人主治医制

個人健康管理の充実（本人入力・自動可）

NFC機器連携
対応機器から自動的に
データを取得します。



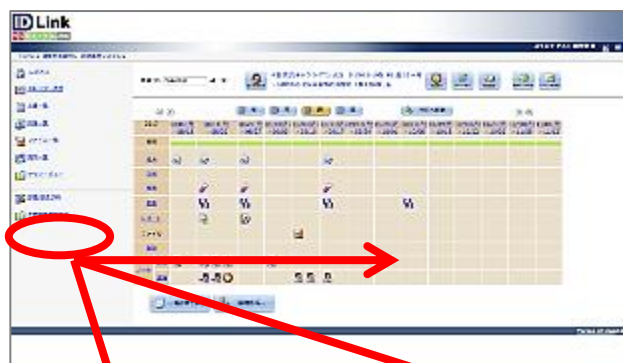
- ・ 自己管理できる健診データ数の増加（25→38）
- ・ スマホアプリの活用による身近な予防医療を実現

NO	項目
1	身長
2	体重
3	腹囲
4	BMI
5	血圧(上)
6	血圧(下)
7	白血球数
8	赤血球数
9	血色素量
10	ヘマトクリット
11	血小板数
12	AST(GOT)
13	ALT(GPT)
14	ALP
15	γ-GTP
16	血清アルブミン値
17	CK
18	血糖値
19	HbA1c(NGSP)

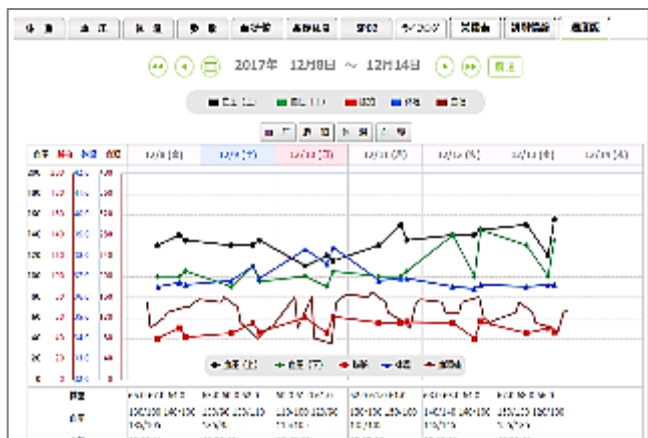
NO	項目
20	総コレステロール(T-Chol)
21	HDLコレステロール
22	LDLコレステロール
23	中性脂肪(TG)
24	BUN
25	クレアチニン
26	eGFR
27	尿酸
28	尿蛋白
29	尿糖
30	尿潜血
31	尿タンパク定量クレアチニン補正值
32	尿中微量アルブミン定量
33	喫煙の有無
34	糖尿病診断年齢
35	網膜症
36	年一回以上の歯科受診の有無
37	INR(PT-INR)プロトロンビン時間
38	BNP(NT-proBNP)

「とねっと」カレンダー画面からの各種参照

カレンダー画面メニューより起動



とねっと健康記録画面



患者様自身が健康記録情報を登録している場合、「とねっと」にて参照可能です。ADL等の情報から退院支援でも活用可能です。

健康記録加入者数：18,336人
(R6.3.31現在)

救急画面 「とねっと」参加患者の救急搬送人数：4,363人（R6.3.31現在）

▲アレルギーあり：そば	
▲アレルギーあり：エビ・エビ殻・アアナフィラキシー	
患者氏名	とねっと 太郎 (トネット タロウ) 性別 男
生年月日	S15.05.15(77歳) 血液型 B(Rh+)
かかりつけ医	埼玉病院、とねっとクリニック
最新受診施設	埼玉病院(H29.10.24)、とねっとクリニック(H29.08.18)、利根クリニック(H29.05.01)
患者申請 (H29.04.01)	服薬 セイブル3回/1日：1回1錠、グリメピリド1mg(朝1錠)
病歴	糖尿病
感染症	はしか
病院情報	処方 ポルタレン
保険病名	心臓病、脳卒中、糖尿病
住所	〒340-0103 埼玉県幸手市内岡府間
電話番号	0480-11-1111
緊急連絡先	とねっと 次郎(続柄：子) 電話番号 090-1234-5678
緊急連絡先	とねっと 花子(続柄：妻) 電話番号 090-9876-4321
医療×マ 医	ADI 身体状況：寝返り、座位、立位、歩行

救急隊員が参照している画面を確認可能です。

地域連携パス（糖尿病）

糖尿病地域連携パスに関して、「とねっと」からの起動が可能です。作成されたパスに対して検査結果の入力を行います。

循環型連携パスの適用患者数：383人
(R6.3)

診療・検査予約

他施設の検査・診療に関して「とねっと」から予約画面を起動し、予約取得することが可能です。

※外部向け予約情報公開施設に限ります

「とねっと」に参加するメリット（医療機関）

医療機関が「とねっと」に参加することで想定されるメリット

<p>医療機関 (病院・診療所)</p>	<ul style="list-style-type: none">● 診療報酬の算定 EX) 検査、画像情報提供加算 退院患者の場合 200点 その他の患者の場合 30点 電子的診療情報評価料 30点● 他の医療機関における診療履歴を活用した効果的な治療や指導が行える。● 参照した他の医療機関の技術レベルが高かった場合、自院の技術向上モチベーションが高まり、地域全体の医療レベルの向上が期待できる。● 患者の集中等による病院勤務医の業務負担を軽減できる。● 専門医は重篤な患者の治療に専念することができる。● かかりつけ医はプライマリケアに専念できる。● 紹介時の情報提供（検査値や画像など）の手間と時間が軽減される。● 自院からの紹介患者（入院等）の処置情報（検査、処方、入退院状況等）がリアルタイムに確認できる。
<p>患者様</p>	<ul style="list-style-type: none">● 近隣の診療所（かかりつけ医）に通院でき、治療を継続しやすいため、治療効果が現れやすい。（早期治癒、合併症予防など）● PCやスマホを利用し、共有情報の参照を可能とすることによりQOLの向上が見込める。● 自身の服薬情報やバイタルを把握・管理することができる。● 複数の医療機関にかかっている場合でも診療情報を共有化してもらえる。● 重複した診察、検査、投与のチェックが可能となるため安全性が高まる。● 救急搬送時に過去診療歴を参照の上、適切な治療が受けられる。

「とねっと」に参加するメリット（歯科医療機関）

歯科医療機関が「とねっと」に参加することで想定されるメリット

歯科 医療機関	<ul style="list-style-type: none">① 診療報酬の算定 EX) 電子的診療情報評価料30点 ② ・ かかりつけ医を中心としたシームレスな地域医療連携による地域の医療の質の向上 ・ 他の医療機関における診療履歴を活用した効率的な治療や指導の実施 ・ 複数機関からの診療内容を一元的に確認できる。 EX) 歯科治療、抜歯時等での骨粗しょう症や神経系薬剤、抗凝固薬が使用されているかの確認が可能 また歯科医療機関からかかりつけ医へ調剤情報が連携可能 ③ 歯科訪問診療の際にタブレットを利用して過去の診療歴を参照可能 EX) 医科診療情報や健康記録情報を事前やその場で確認可能で訪問時のやり取りを円滑に進めることが可能
患者様	<ul style="list-style-type: none">① 複数の医療機関にかかっているにもかかわらず診療情報を共有化してもらえる。② 重複検査・投与のチェックが可能となるため安全性が高まる。

「とねっと」に参加するメリット（調剤薬局）

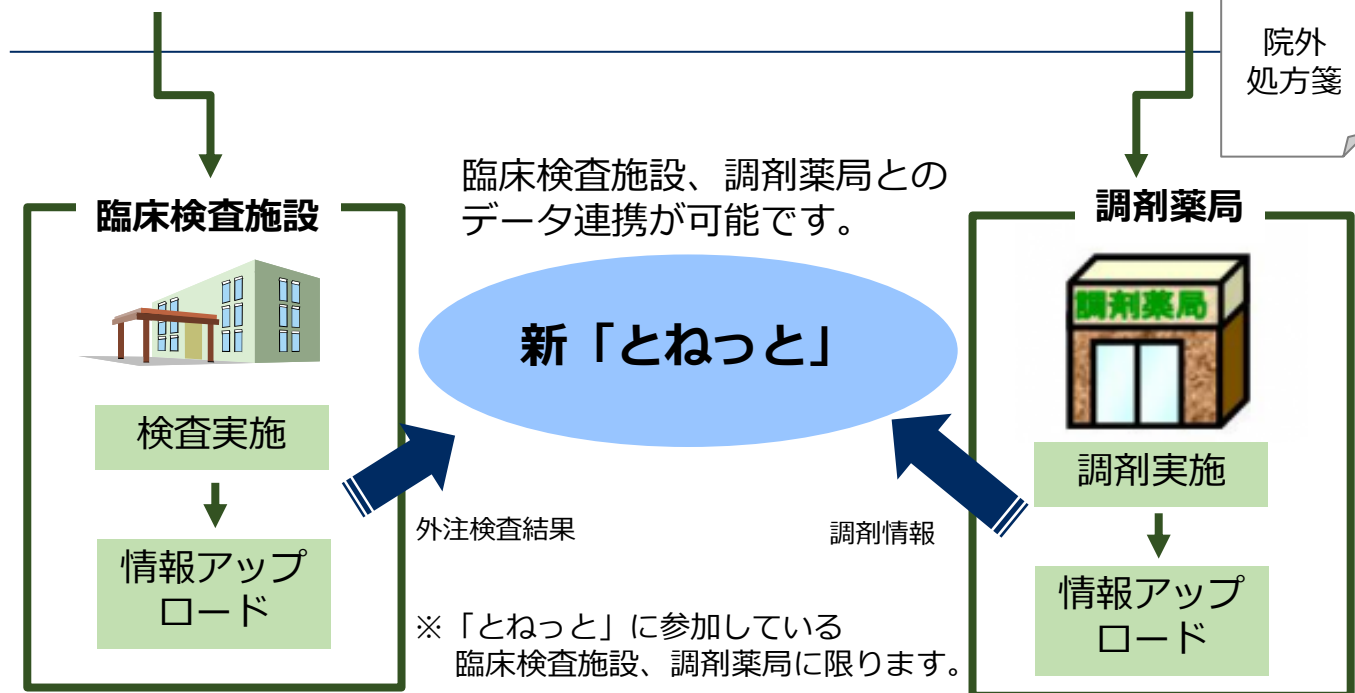
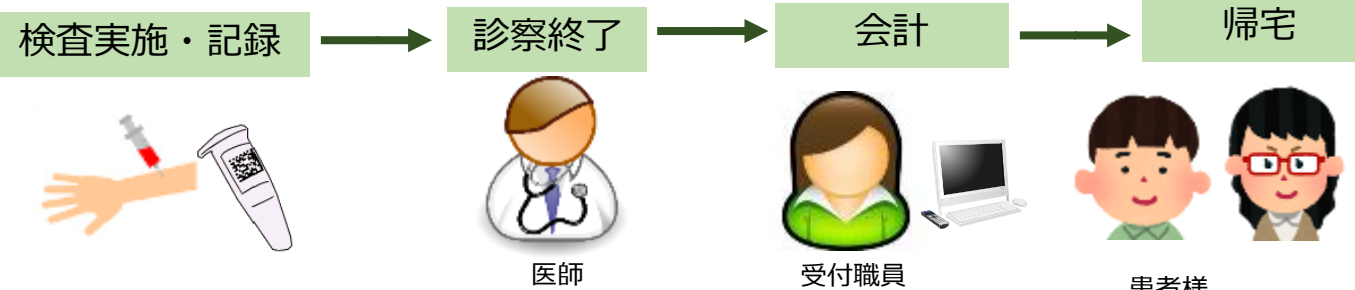
調剤薬局が「とねっと」に参加することで想定されるメリット

調剤薬局	<ul style="list-style-type: none">● 病院での診察・検査結果・指導内容を参照してより良い服薬指導ができる。● 過去の履歴（処方、検査など）を参照して、安全な調剤が可能となる。● 相互に情報を公開することで病院・薬局間の信頼関係が深まる。● ノート機能（*）によって病院への情報伝達がスムーズに出来る。
医療機関	<ul style="list-style-type: none">● 一般名処方 → 実際の薬剤名がわかる（後発品の選択や変更など）。● 入院時の持参薬鑑別の一助になる（散剤や粉剤の確認も可能となる。）。● 複数機関からの調剤内容を一元的に確認できる。● ノート機能（*）によって保険薬局からのコメントを参照できる。
患者様	<ul style="list-style-type: none">● 薬やおくすり手帳を忘れてもとねっと参加施設であれば処方・調剤内容を確認してもらえる。● 複数の医療機関にかかっている場合でも処方・調剤情報を共有化してもらえる。● 重複投与のチェックが可能となるため安全性が高まる。● 救急時、在宅医療介護でも調剤内容を確認してもらえるための確な処置が受けられる。

(*）ノート機能とは閲覧した情報に対してコメント入力できる機能です。担当者間での確認や連絡等に活用できます。

病院・クリニック、歯科からの双方向連携

外注検査施設、調剤薬局からの情報連携



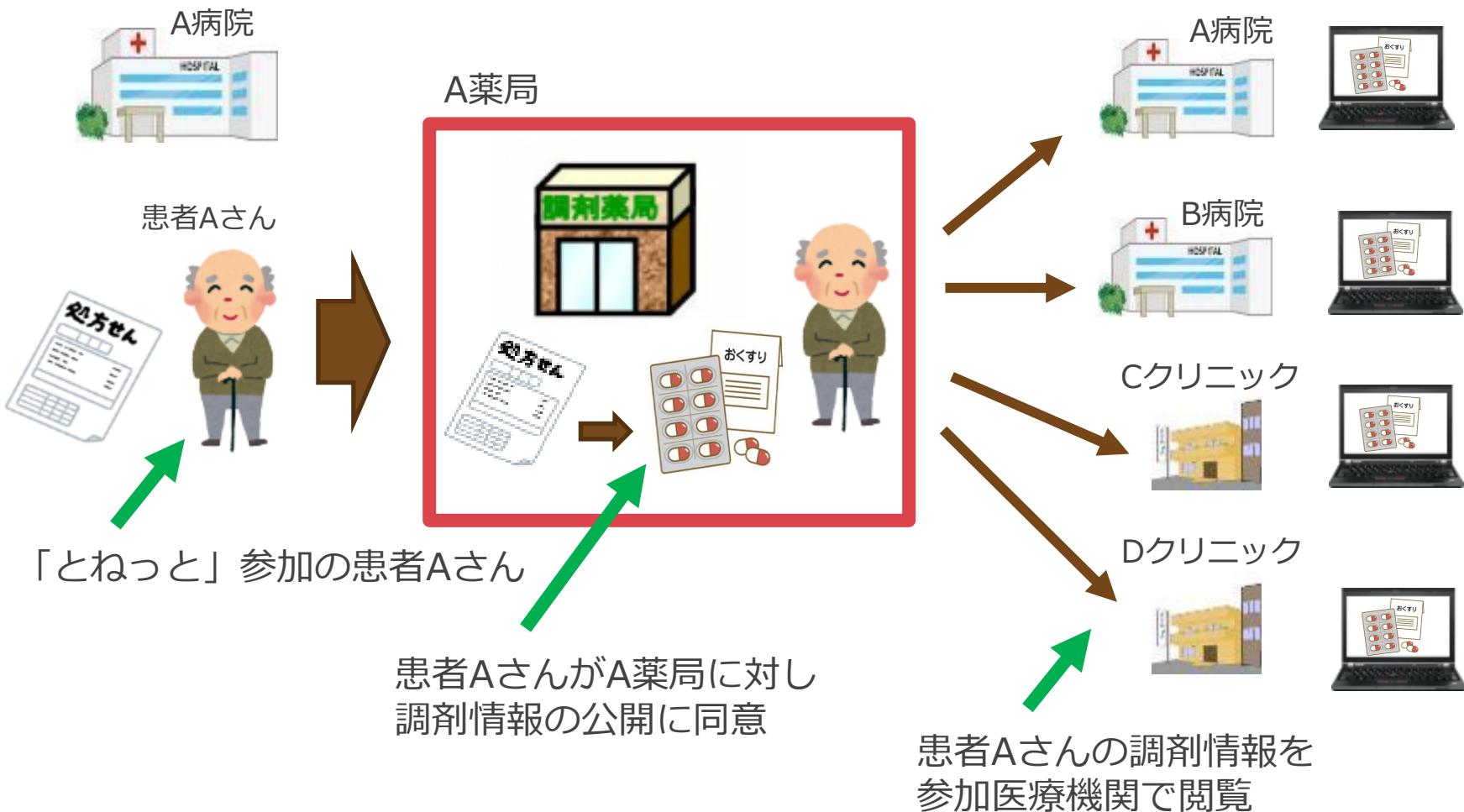
医療機関での参照件数 (双方向性)

- ① 病院・診療所・調剤薬局 ↓ **204件** 中核病院
- ② 中核病院 ↓ **48件** 病院・診療所・調剤薬局
- ③ 中核病院 ↓ **131件** 中核病院
- ④ 病院・診療所・調剤薬局 ↓ **163件** 病院・診療所・調剤薬局

(令和5年3月末現在)

調剤薬局との連携

調剤薬局での調剤情報を「とねっと」に登録、患者様のお薬情報を参加医療機関が閲覧





令和6年3月31日現在の健康記録加入者数 **18,336人**

とねっと健康記録



健康記録データを本人の意思により 各種サービスに個別開示、情報を活用。



生涯の生活や健康情報を記録・集約。振り返りやアドバイスをもらえます

自宅で検査結果や処方薬を確認



血圧

体重

血糖

活動量

生活記録や日記



自動取り込み
(NFC等)



救急搬送に情報を活用



将来はフィットネスクラブや
健康増進プログラムなどで活用可能に



医療機関でアドバイスをもらう



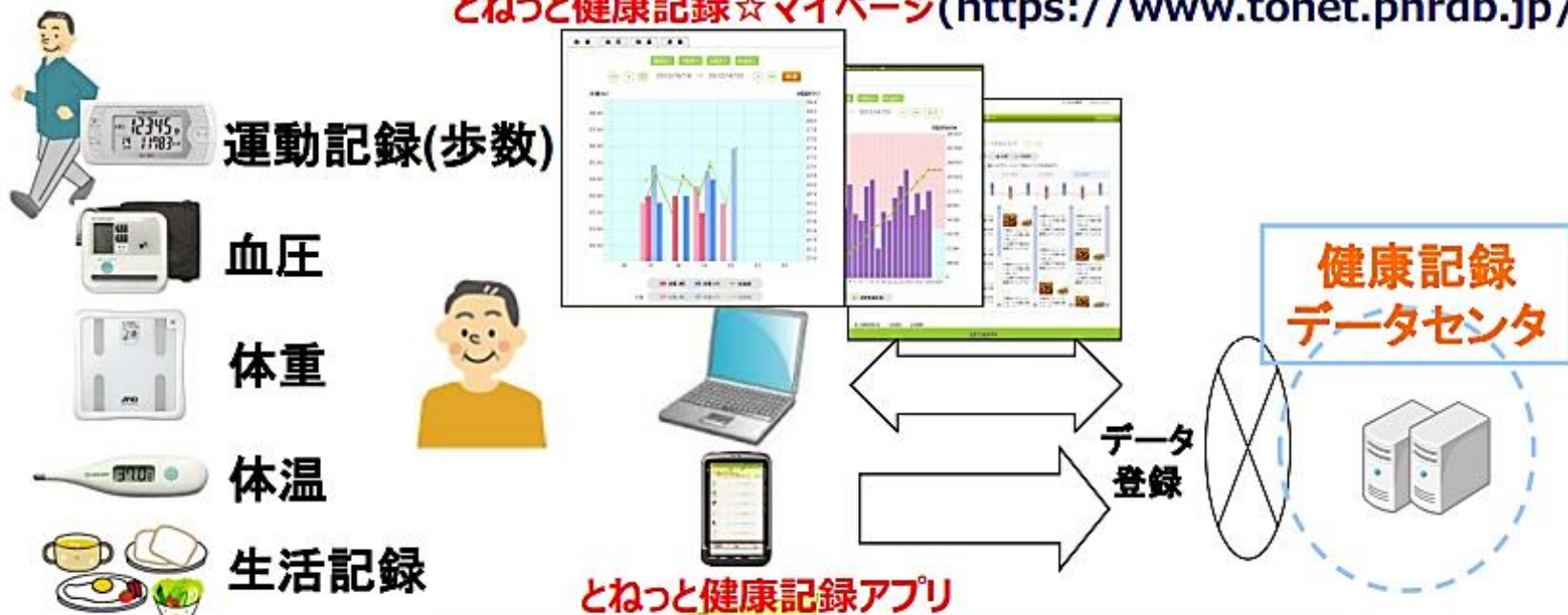
※ 「とねっと」健康記録は、令和6年度よりキーウェアソリューションズ（株）に希望者については移行措置済

とねっと健康記録はあなたの健康づくりの第一歩です。

「とねっと」申請時に健康記録を希望するとあなたの「とねっと健康記録☆マイページ」が用意されます。また、日々のデータを簡単に登録するアプリも用意しています。（アプリはダウンロード後、かかりつけ医カードIDと申し込んだパスワードを入力すると、あなた専用のアプリになります）

本書では、**とねっと健康記録☆マイページ**および、**とねっと健康アプリ**の使い方を説明します。

とねっと健康記録☆マイページ(<https://www.tonet.phrdb.jp/user/>)



対応機器とFeliCa (NFC)
連携でデータを自動登録

データ入力はスマホアプリで。
ユーザーは必要な情報を一つのアプリで**まとめて**管理。
グラフ表示も行う。



アプリイメージ 計測項目は計測機器と連携

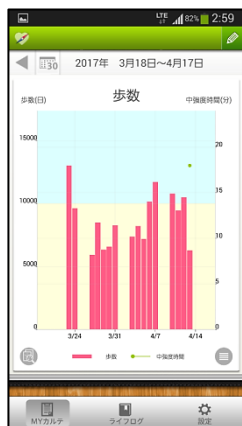
FeliCa受信

こんにちは、はたさん。
アプリを始めてから12日目です。

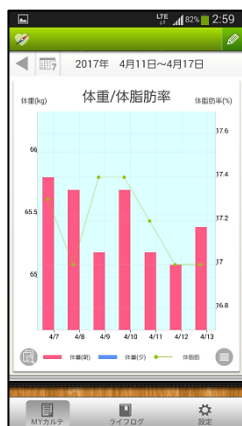
歩数	歩数 6291歩	中強度時間 18分	4/13 木
体重/体脂肪率	朝 65.40kg	体脂肪 17.0%	4/13 木
血圧	朝 146/98mmHg	脈拍 67拍/分	4/13 木
体温	朝 36.50℃		4/17 月
	朝食後 16:08 255mg/dL		4/13 木
	昼食後 16:08 136mg/dL		

MYカルテ ライフログ 設定

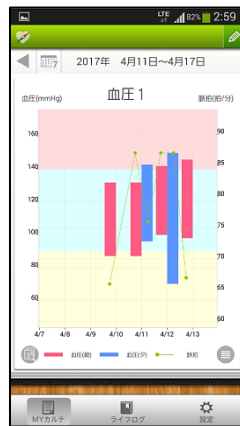
メニュー画面



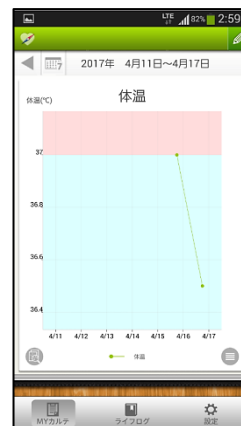
歩数



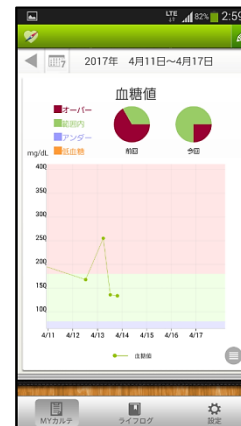
体重



血圧



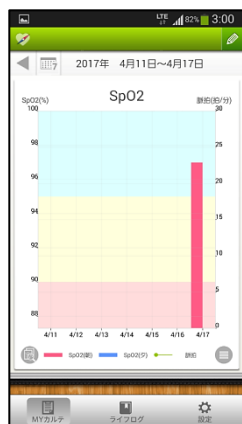
体温



血糖値



基礎体温



SpO2

2014年 7月 4日 (金)

12:14 時間がなくつくれていなかった手打ちそば。本日朝チャレンジ!初めてにしては上手にできたんじゃないかな?味はもちろんな満足です!食後のお茶も忘れずに...

18:07 親戚から新鮮な魚を頂きました。せっかくなので今日の夜ご飯は焼き魚に味噌汁!!とても美味しく感動しました。

ライフログ

2017年 4月 17日 (月)

お薬一覧	残薬量	最終日
アドバスタシオン 錠 朝07:00	9 錠	4/19 (日)
リビトール 錠 朝18:53	18 錠	5/5 (日)

すべてチェックする

服薬管理

21:15

4月12日水曜日

LifeRoute
お薬を服用する時間です。
スライドで服薬管理画面を表示

服薬通知



Web画面イメージ

最新マイデータ

- はたさん
- ▶ 体重: 65.40kg
- ▶ 体脂肪率: 17.0%
- ▶ 最高血圧: 146mmHg
- ▶ 最低血圧: 98mmHg
- ▶ 体温: 36.50℃
- ▶ 歩数: 6,291歩
- ▶ 血糖値: 134mg/dL
- ▶ 基礎体温: 36.50℃
- ▶ SpO2 : 97%

お知らせ

YAMASA 最新マイデータ 即時更新!!
※一部向け販売準備中

エスケア 通信活動量計

バイタルグラフ表示

ライフログ表示

3/18 (土)	3/19 (日)	3/20 (月)	3/21 (火)	3/22 (水)	3/23 (木)	3/24 (金)
朝: 72.50kg 夕: 73.30kg 27.5% / 28.0%	朝: 72.80kg 夕: 74.00kg 27.9% / 28.3%	朝: 73.80kg 夕: 74.40kg 28.2% / 29.0%	朝: 74.20kg 夕: 74.90kg 28.6% / 30.0%	朝: 74.40kg 夕: 75.00kg 29.3% / 29.6%	朝: 74.20kg 夕: 74.80kg 30.2% / 30.0%	朝: 74.50kg 夕: 76.00kg 30.0% / 31.0%

07:23 朝ごはん
12:35 昼ごはん
21:12 晩ごはんは点心

11:40 朝起きたりなかつたので朝専用でスイーツ!
20:15 晩ごはんは焼
19:35 ぼんごはん、定食

08:40 100円セールやっていたのでコンビニのおにぎり買った
13:30 昼ごはん、デザートつき
21:25 晩ごはんはラーメン

07:18 朝ごはん
13:28 昼ごはん、兼食事でランチ
21:25 晩ごはんはラーメン

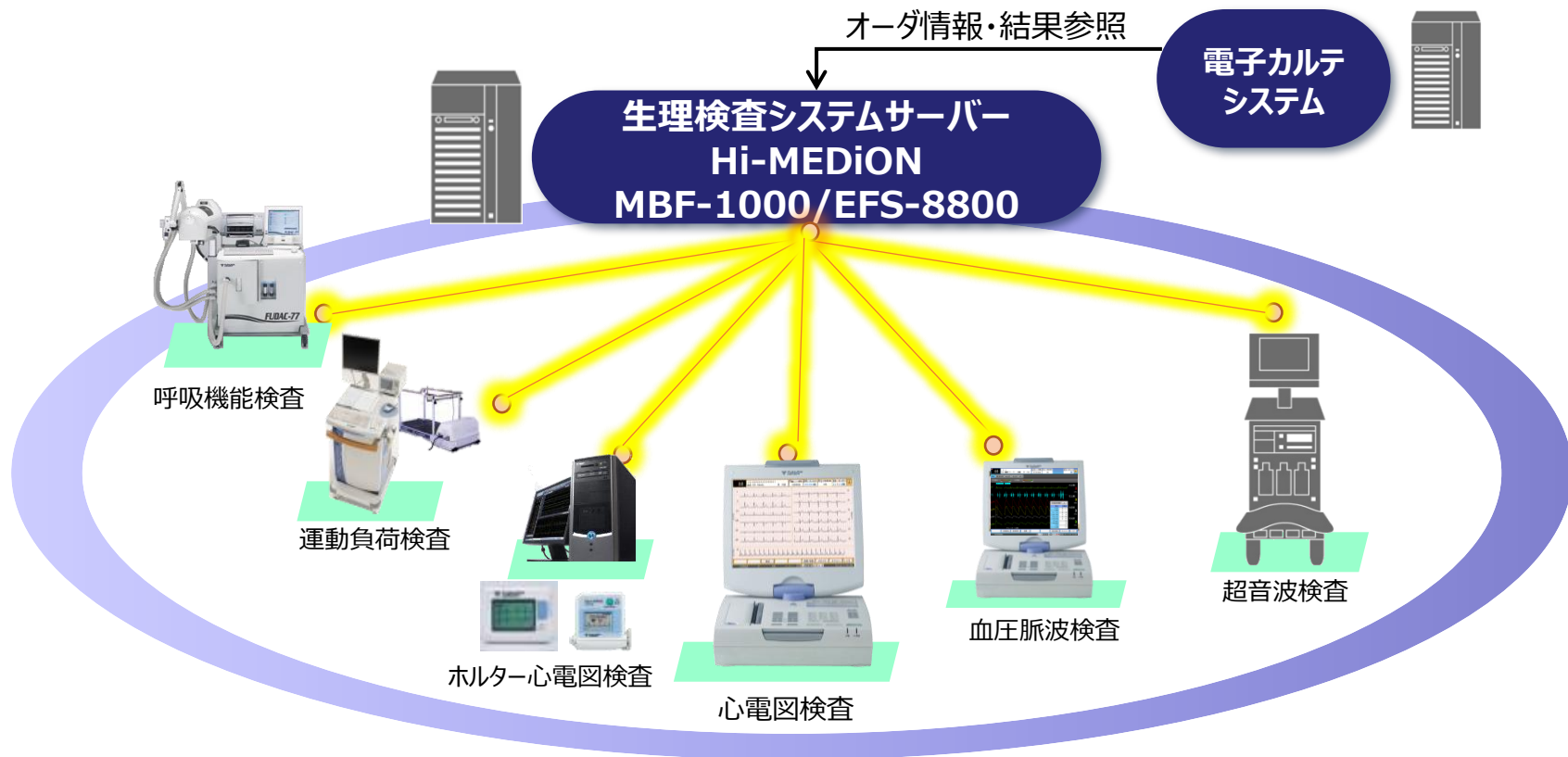
07:14 納豆ごはん
12:32 昼ごはん、弁当作った
23:05 晩飯は飲みに行きた。この残飯はなんだらう...

06:45 朝ごはん、サラダが不足してる気がするのを買った
13:16 昼ごはん、定食食べた
23:35 ぼんごはん、駅弁を食べる

06:44 朝ごはん
12:56 昼ごはんはファストフードで簡単にすませた。午後ちがんばろう
16:15 お昼

ライフログ表示

生理検査システムとの連携



生理検査システムは、心電計、ホルター心電図・運動負荷心電図・血圧脈波・呼吸機能検査などの各検査装置と接続し、波形データの一元管理が可能なシステム(MBF-1000、EFS-8800)と、超音波等DICOM画像を保存可能なシステム(Hi-MEDIION)です。

これらの生理検査システムでは、電子カルテと連携し、オーダー情報や患者属性情報を取得して検査をスムーズに進めることができ、検査結果は電子カルテ端末より参照することが可能です。

結果参照 (院内電子カルテ端末)

電子カルテシステム



生理検査システム

患者氏名	科	検査項目	検査日	結果	検査結果	検査結果	検査結果
山田太郎	内科	心電図検査	2023/10/20	正常	正常	正常	正常
山田太郎	内科	心電図検査	2023/10/20	正常	正常	正常	正常
山田太郎	内科	心電図検査	2023/10/20	正常	正常	正常	正常
山田太郎	内科	心電図検査	2023/10/20	正常	正常	正常	正常
山田太郎	内科	心電図検査	2023/10/20	正常	正常	正常	正常
山田太郎	内科	心電図検査	2023/10/20	正常	正常	正常	正常
山田太郎	内科	心電図検査	2023/10/20	正常	正常	正常	正常
山田太郎	内科	心電図検査	2023/10/20	正常	正常	正常	正常
山田太郎	内科	心電図検査	2023/10/20	正常	正常	正常	正常
山田太郎	内科	心電図検査	2023/10/20	正常	正常	正常	正常



電子カルテ端末よりDICOM画像及びレポート、波形データ等、生理検査結果が表示されます。さらに、専用ビューアにて超音波の動画再生や、心電図は生波形形式で参照しています。

視察・取材・事例発表等の主な実績一覧 1/2

日程	視察・取材・事例発表等の内容
H24.2.20	東京新聞に掲載
H24.3.20	読売新聞に掲載
H24.4.20	朝日新聞に掲載
H24.6.6	福井県医師会の視察
H24.7.2	埼玉新聞に掲載
H24.7.3	日本経済新聞に掲載
H24.8.9	福井県医師会の視察
H24.8.13	魚沼地域医療連携ネットワーク設立準備委員会の視察
H24.10.17	日本経済新聞に掲載
H24.10.19	東京新聞に掲載
H24.11.22	埼玉県議会福祉保健医療委員会の視察
H25.2.6	慶応大学の視察
H25.2.15	地域ICT活用セミナーでの事例発表（主催：総務省関東通信局、埼玉県）
H25.2.18	「クラウド時代における医療福祉情報連携ネットワークの構築に向けて」ワークショップに参加（主催：一般社団法人情報サービス産業協会JISA）
H25.2.23	日本医事新報に掲載
H25.4.17	総務省による地域におけるICT利活用の成功事例調査
H25.8.21	厚生労働省の視察（研究事業） 日本医科大学大学院教授・高度救命救急センター長 東京医科大学准教授・救命救急センター長
H25.9.10	新潟県医薬事課魚沼基幹病院設立準備室、魚沼地域医療連携ネットワーク協議会の視察
H25.9.10	山形県地域医療対策課、村山保健所の視察
H25.9.18	厚生労働省第7回救急医療体制等のあり方に関する検討会（とねっと）の事例報告
H25.10.23	関東ブロック東京事務所厚生労働担当者連絡会の視察
H25.11.14	長野県駒ヶ根市議会文教厚生委員会の視察
H25.11.15	丹呉泰健内閣官房参与（元財務省事務次官）の視察（糖尿病連携パスによる医療費適正化等）
H26.1.14	医薬品法務研究会機関誌に掲載
H26.4.9	シード・プランニングの取材
H26.5.20	IDCジャパンの取材
H26.5.21	TBSの取材
H26.5.26	国際公共政策研究センター（GIPPS）主催シンポジウムに参加（奈良県）
H26.6.20	毎日新聞に掲載
H26.7.16～18	国際モダンホスピタルショー2014に出展
H26.9.4	奈良県、奈良市医師会等の視察
H26.9.11	草加保健所の視察
H26.10.15	岩手医科大学附属病院の視察

日程	視察・取材・事例発表等の内容
H26.11.4	アビーム・コンサルティング（株）の取材
H26.11.11	大宮医師会での講演
H26.11.16	本市市児玉郡市医師会・本市主催 在宅医療連携推進市民公開講座での講演
H26.11.18	埼玉東部保健医療圏地域保健医療協議会 草加・八潮・三郷・吉川部会勉強会での講演
H26.12.9	（株）光文書院の取材
H26.12.12	帝京大学ジョイントプログラムセンター・（株）三菱総合研究所インタビュー調査
H27.1.30	第23回全国救急隊員シンポジウムに参加（相模原市）
H27.2.12	埼玉北・北埼玉専門職連携推進会議「事例検討研修会」
H27.3	レジデント3月号に掲載【医学出版】
H27.4.1	小学5年生社会科資料集に掲載【（株）光文書院、（株）新学社】
H27.7.27	厚生労働省の視察（老健局老人保健課）（在宅医療・介護連携への取組み）
H27.10.15	雑誌ガバナンスの取材
H28.1.15	札幌医科大学大学院教授の視察
H28.2.1	茅ヶ崎市・浜銀総合研究所の視察
H28.2.11	NHK解説委員室の取材（NHK「時論公論」で放映）
H28.3.25	宮崎県日南市の視察
H28.5.2	毎日新聞 東京本社の取材
H28.6.28	新潟県魚沼地域医療連携ネットワーク協議会の視察
H28.9.17	さいたま市立柏崎小学校教諭の視察（「とねっと」社会科の教材に活用）
H28.9.21	厚生労働省訪問（社会・援護局 障害福祉課）（「とねっと」システムの内容説明）
H28.12.5	厚生労働省（「重症心身障害児者の医療情報等共有検討会」）での事例発表
H29.1.26	厚生労働省の視察（医政局・保険局大臣官房審議官ほか3名） （現場（済生会栗橋病院）でのシステム操作方法や運用状況等）
H29.2.8	経済産業省からのインタビュー調査 （地域包括ケアシステム実現に向けた環境整備に関する調査）
H29.2.10	広島県医師会の視察（参加者、参加施設拡大や機能強化に向けた取組み等）
H29.2.22	厚生労働省中央社会保険医療協議会総会（「とねっと」の取組事例の掲載）
H29.2.24	（株）日本医療企画の取材（月刊「最新医療経営フェイズ・スリー」特集）
H29.2.28	千葉大医学部の視察 （システムの普及に向けての技術的な要件や情報の管理、運営の工夫等）
H29.3.31	インターシステムズジャパン（株）の取材

視察・取材・事例発表等の主な実績一覧 2/2

日程	視察・取材・事例発表等の内容
H29.4.28	(株)富士経済の取材
H29.8.16	日本能率協会総合研究所の取材 (厚生労働省の「平成29年度在宅医療・救急医療連携セミナー」事業において、先進地として選出)
H29.8.30	中外製薬(株)の取材(全国に発信する特集冊子の作製)
H29.9.5	厚生省等の取材・視察(医政局 研究開発振興課、(株)オールアバウト) (厚生労働省の「医療情報連携ネットワーク支援Navi」へ掲載等の取材・現場(診療所・病院)視察)
H29.10.22	厚生労働省(「在宅医療・救急医療連携セミナー事業」での事例発表)
H29.12.19	厚生労働大臣へ新「とねっと」の説明(大臣室)
H30.2.4	厚生労働省(「在宅医療・救急医療連携セミナー事業」での事例発表)
H30.4.20	国際モダンホスピタルショーでの事例発表
H30.5.21	(株)富士経済の取材
H30.7.11	国際モダンホスピタルショーでの事例発表
H30.8.17	内閣府規制改革推進室の視察
H30.8.24	読売新聞に掲載
H30.11.10	滋賀県医師会の視察
H30.11.22	経済産業省・東京工業大学の視察
H30.12.3	総務省・NTT東日本(株)の視察 総務省実証事業における「とねっと健康記録」
H30.12.4	日本最大の会員制医療情報メディアであるエムスリー(株)の視察
H31.1.24	厚生労働省の視察(医政局大臣官房審議官、研究開発振興課長、医療技術情報推進室ほか) 現場視察・意見交換(消防・診療所・病院)
H31.2.2	大分県「うすき石仏ネット」の視察(運営委員長)
H31.3.17	日本医療マネジメント学会 第8回埼玉支部学術集会への参加
R1.5.10	メディカル・データ・ビジョン株式会社の視察
R1.5.30	深谷寄居医師会の視察
R1.9.20	国立保健医療科学院での事例発表
R1.9.25	厚生労働省の視察(大臣官房審議官(データヘルス改革担当)、参事官、研究開発振興課室長、室長補佐・現場視察)
R1.11.5	長崎県佐世保市医師会の視察
R1.11.25	神奈川県・横浜市の視察
R1.12.1	地域医療ネットワーク研究会シンポジウムでの事例発表
R2.2.6	総務省「医療等分野のネットワーク利活用モデル構築」にかかる調査研究の視察:NTT東日本
R2.2.27	県立広島大学の視察
R2.3.24	内閣府「先端衛星システムの技術動向等調査(情報共有のあり方の調査)」:三菱総合研究所
R2.3.30	日本ラグビーフットボール協会の視察

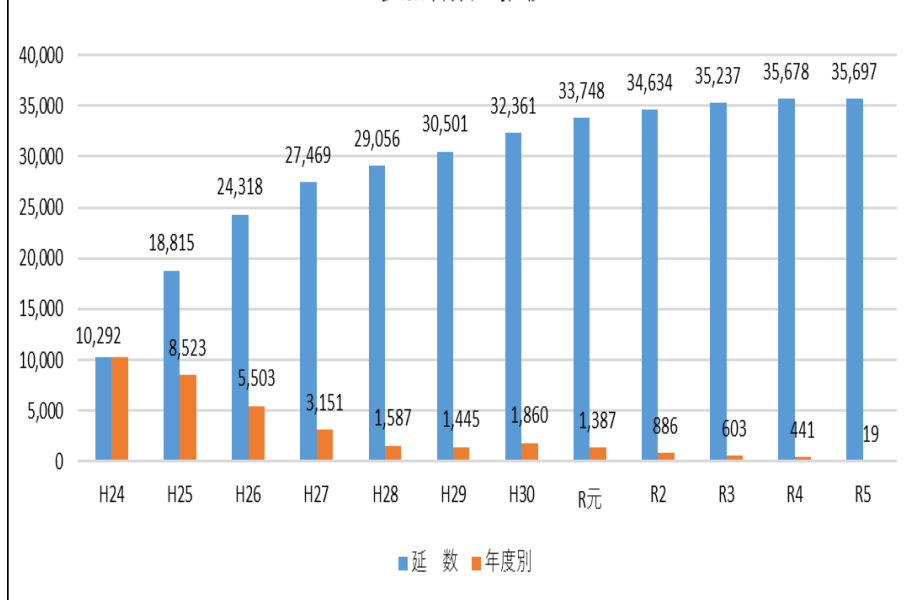
日程	視察・取材・事例発表等の内容
R2.4.27	内閣官房 未来投資会議における「とねっと」の事例紹介
R2.7.7	明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科の取材
R2.8.19	日本医師会総合政策研究機構の取材
R2.8.24	北海道名寄市役所の取材
R2.9.4	日刊工業新聞の取材
R2.9.11	国立保健医療科学院での事例発表
R2.10.26	ファイザー(株)の取材
R2.11.1	静岡県立総合病院の取材
R3.1.12	厚生省 医薬生活衛生局 総務課の取材
R3.2.3	電子自治体推進パートナーズでの事例発表
R3.4.19	デロイト トーマツコンサルティングの視察
R3.5.6	北見工業大学の取材
R3.7.15	リコージャパン(株)の視察
R3.8.26	「とねっと」と山形「ちようかいネット」との広域連携の可能性の検討会の出席
R4.1.27	京都大学大学院からの「とねっと」の医療関係者への利用状況の調査
R4.2.19	日本医師会医療情報システム協議会での発表
R5.6.9	総務省消防庁の視察(マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化に向けた検討)
R5.10.20	北見工業大学、江戸川大学の取材
R5.12.20	明治大学の取材

「とねっと」の参加状況（令和6年3月31日現在）

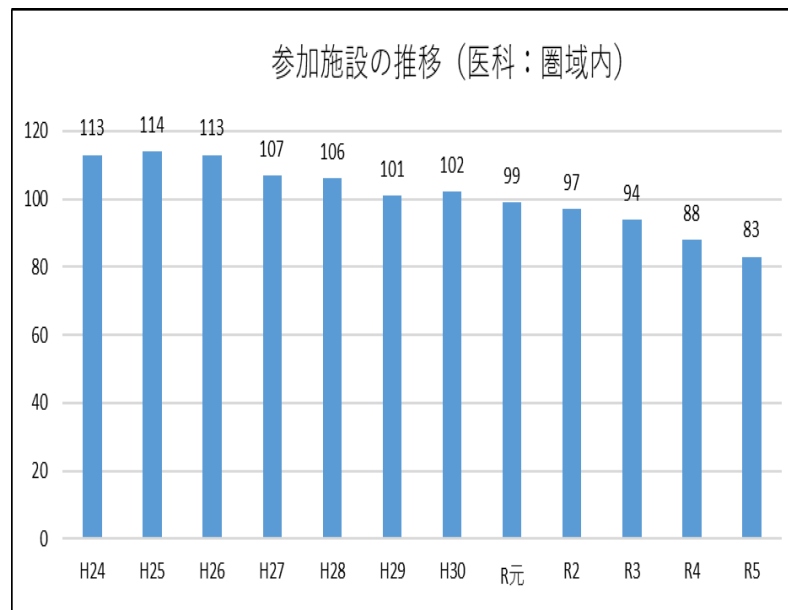
①住民（患者）の参加者数（人）		35,697
内 訳	圏域内住民	35,645
	・うち紐づけ患者数	15,972
	・うち健康記録加入者数	18,297
	・うち避難住民の参加特例数	114
	圏域外住民	52
	・うち紐づけ患者数	27

②医療機関等の参加数（施設）		136
内 訳	圏域内医療機関	126
	・中核病院	7
	・県立病院	3
	・病院、診療所	73
	・歯科医療機関	8
	・調剤薬局	35
	圏域外医療機関	4
	臨床検査施設	6

参加者数の推移



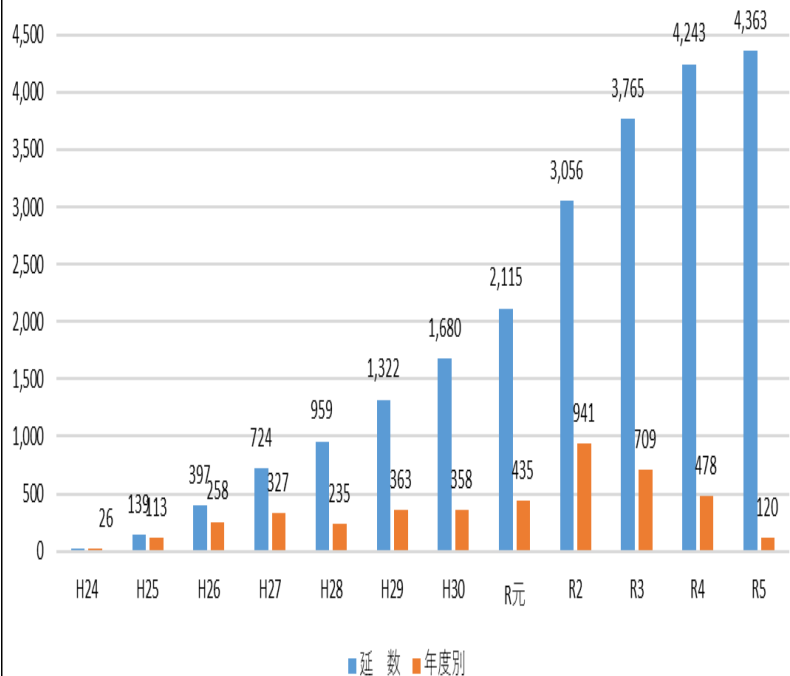
参加施設の推移（医科：圏域内）



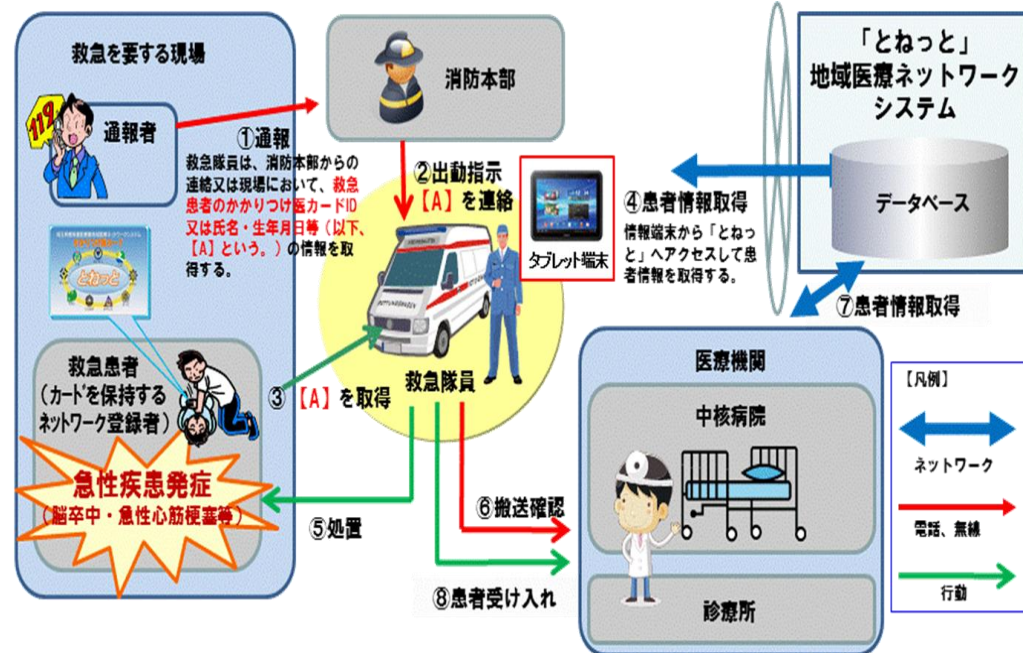
「とねっと」の活用状況（救急搬送：令和6年3月31日現在）

- ・「とねっと」開始以来、**4,363人**の救急搬送に活用
- ・救急用画面には、利用登録時の「申請情報とその後、医療機関に受診した際に蓄積された「更新情報」が表示される。
- ・認知症など、情報が取得しにくい場合に役立っている。
- ・参加同意書に「救急時の情報利用」について記載し、救急隊が救急搬送時に閲覧が可能である。

救急タブレット端末活用件数



「とねっと」カードを活用した救急患者搬送支援イメージ



救急タブレットの活用事例 1/2

日時	令和5年7月28日	金曜日		種別	急病	搬送先病院	済生会加須病院
傷病者情報	年齢	性別	傷病名	程度			
	90	女	ショック	重症			
概要	90歳女性、自宅で意識状態が悪くなり家族が救急要請						
使用状況	意識障害があり会話ができず、また家族も詳しいことはわからないため、とねっと検索を行ったところ、加入者と判明した。内容を確認したところ既往歴や緊急連絡先などの情報把握および搬送につながった。						

日時	令和5年3月8日	水曜日		種別	急病	搬送先病院	十善病院
傷病者情報	年齢	性別	傷病名	程度			
	76	男	脱水症	中等症			
概要	76歳男性、本日病院を受診予定であったが腹痛で体動困難となり救急要請						
使用状況	とねっと検索をしたところ加入者と判明した。既往歴等情報を入手することができ、医師への申し送り役で立った。						

日時	令和5年7月21日	金曜日		種別	急病	搬送先病院	東埼玉総合病院
傷病者情報	年齢	性別	傷病名	程度			
	81	男	肺がん	重症			
概要	81歳男性、呼吸苦があったため救急要請						
使用状況	とねっと検索をしたところ加入者と判明した。既往歴の確認、収容依頼、医師への申し送りを円滑に行うことができた。また、家族からの聴取内容の確認にも使用することができた。						

日時	令和5年2月26日	日曜日		種別	急病	搬送先病院	羽生総合病院
傷病者情報	年齢	性別	傷病名	程度			
	92	男	心不全	中等症			
概要	92歳男性、昨日からの呼吸苦があり様子をみていたが、改善しないため救急要請						
使用状況	家族からの情報が薄かったため、とねっと検索をしたところ加入者と判明した。円滑な情報把握および搬送につながった。						

日時	令和5年7月18日	火曜日		種別	急病	搬送先病院	しらさきクリニック
傷病者情報	年齢	性別	傷病名	程度			
	82	女	頭痛	軽症			
概要	82歳女性、頭痛があり動けなくなってしまったため救急要請						
使用状況	本人痛みが強く、会話することがつらそうであった。本人からとねっと加入者と申告があり検索したところ、既往歴やかかりつけ医など円滑な情報把握および搬送につながった。						

日時	令和5年1月7日	日曜日		種別	急病	搬送先病院	中田病院
傷病者情報	年齢	性別	傷病名	程度			
	87	男	意識消失発作	中等症			
概要	本日約1分間ほどの意識消失を起こしたため救急要請						
使用状況	意識は回復したが、まだぼんやりしていたため、とねっと検索をしたところ加入者と判明した。円滑な情報把握および搬送につながった。						

救急タブレットの活用事例 2/2

日時	令和4年12月29日	日曜日		種別	急病	搬送先病院	新久喜総合病院
傷病者情報	年齢	性別	傷病名	程度			
	84	男	敗血症	軽症			
概要	自宅のリビングで倒れているのを発見され救急要請						
使用状況	独居かつ会話が困難なため、所持品からとねっとカードを発見し検索を実施した。迅速な搬送、搬送先医師へ情報提供することができた。						

日時	令和3年3月12日	金曜日		種別	交通事故	搬送先病院	西山救急クリニック
傷病者情報	年齢	性別	傷病名	程度			
	22	女	頭痛	軽症			
概要	自転車で走行中に転倒し、頭痛の痛みを訴えたため、到着した警察官が救急要請						
使用状況	本人からの聴取でも家族の連絡先等が判明せず、とねっとの氏名検索機能を使用し検索を実施した。該当者を発見し、緊急連絡先の父親と連絡を取ることができ、スムーズに搬送できた。						

日時	令和4年10月5日	水曜日		種別	急病	搬送先病院	騎西病院
傷病者情報	年齢	性別	傷病名	程度			
	79	男	意識障害 慢性腎不全HD直前	中等症			
概要	自宅で意識消失を起こしたため救急要請						
使用状況	傷病者は意識回復していたがぼんやりしている状態のため、とねっとの検索をしたところ本人が加入者と判明した。タブレットの情報をもとに収容依頼することができた。また、搬送中に意識レベルの改善がみられ、内容を確認することができた。						

日時	令和3年11月6日	土曜日		種別	交通事故	搬送先病院	埼玉脳神経外科病院
傷病者情報	年齢	性別	傷病名	程度			
	88	男	頭部打撲	軽症			
概要	自転車で転倒、出血している傷病者を発見し通行人が救急要請						
使用状況	傷病者の詳細な情報が得られなかったため、とねっとの氏名検索を利用し該当者を検索した。該当者を発見し、詳細情報を確認し早期現場離脱の役に立った。						

日時	令和4年6月10日	金曜日		種別	急病	搬送先病院	本町福島クリニック
傷病者情報	年齢	性別	傷病名	程度			
	87	男	上気道炎	軽症			
概要	発熱が続くため救急要請						
使用状況	傷病者は独居、家族等の連絡先について思い出せないため、とねっとの検索から本人が加入者とわかり、タブレット情報から緊急連絡先が判明した。迅速に家族に連絡、また医療機関収容となった。						

無料

埼玉利根保健医療圏 地域医療ネットワークシステム『とねっと』

安心

『とねっと』は、地域の病院、診療所、歯科診療所、調剤薬局、画像診断施設、臨床検査施設などを安全なネットワークで結び、患者さんの情報を共有し、活用するシステムです。



1 より安心して高い医療が受けられます！

検査結果や処方などの情報を共有

大きな病院と診療所を受診する場合、診療所で病院の検査結果や処方の内容を見られるので、検査や投薬の重複も防ぎやすくなります。

患者さんの情報が共有されるので、大きな病院で手術して退院した後も、紹介された診療所で安心して治療を受けられます。

糖尿病などの患者さんが複数の医療機関を受診する場合、医師の間で治療方針や検査結果が共有されるので、安心して治療を受けられます。



2 もしものときに役立ちます！

万一、自宅や外出先で突然倒れてしまったときも、カードを携帯していれば、救急隊員が必要な患者情報を取得して、患者のいち早い処置や搬送に役立てることができます。



救急医療現場



3 健康管理に役立ちます！

血糖値や血圧、体重が気になる場合などに、パソコンやスマートフォンで、自分で測定した数値を登録したり、病院などで受けた検査結果や処方の内容を見たりできます。継続して利用することで、自身の健康管理に役立ちます。



自宅

○ 『とねっと』には、利根保健医療圏内(行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町)に在住の方が無料で参加できます。

○ 『とねっと』参加医療機関は、協議会ホームページからご覧いただけます。
<http://www.saitama-tonet.jp/>

○ 『とねっと』は、利根保健医療圏内の医師会、歯科医師会、薬剤師会や中核施設、自治体加須・幸手保健所などで構成する埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会が管理・運営しています。

埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会事務局
〒347-0031 加須市市町5-15 (埼玉県加須保健所内)
TEL 0480-63-0003 FAX 0480-63-0033
E-mail tonet@rhythm.ocn.ne.jp

全国初！

地域医療を支えるために、行政が参加し、医師会・歯科医師会・薬剤師会や中核施設、検査機関などと構築した医療連携システムは、全国初です。

「とねっと」に参加するには

多くの方の参加が「とねっと」を育てます。

① 必要な書類を用意

手続に必要な次の書類を用意します。

① 本人確認ができる書類(免許証や保険証など)

② 服用薬の名前が分かる書類(お薬手帳など)

※ ②は必要に応じてお持ちください。

② お住まいの行政窓口へ

とねっとの受付窓口で参加の手続をします。

① 『とねっと参加(利用)同意書』に記入。

② 持参した書類を提示し、確認を受ける。

③ カードを受け取る

「とねっとカード」が郵送されます。

2週間ほどで、ご自宅に「とねっとカード」が届きます。

- ※ 本人が受付窓口で手続できない場合は、家族や友人などが代わって手続することもできます。
- ※ 本人確認書類(免許証や保険証)は、「とねっと」に参加される方のものをお持ちください。
- ※ 『とねっと参加(利用)同意書』は、各行政窓口のほか、「とねっと」に参加している病院、診療所、調剤薬局などにもあります。
- ※ 書類の郵送による申込みも可能です。郵送する場合は、『とねっと参加(利用)同意書』に必要事項を記入し、保険証や免許証などのコピーを添えて、協議会事務局へ郵送してください。

「とねっとカード」の使い方

とねっと参加医療機関にかかるとき

「とねっとカード」を提出します。

- (注)
- カードを提出しないと、医療機関で「とねっと」の情報を見られません。
 - 医療機関ごとにカードを提出する必要があります。(それぞれ最初の1回のみ)



その他のとき(普段は)

救急現場で救急隊がカードを発見しやすいように、わかりやすく身につけておきましょう。



- (注)
- 医療機関の間で共有する情報は、お薬や検査結果などのすべての情報ではありません。
 - 「とねっと」に参加していない医療機関では、「とねっと」の利用はできません。

「とねっと」システムの評価

地域医療ネットワークシステム「とねっと」は令和6年3月末をもって事業終了に至ったが、**全国のIT医療連携システムで、医療連携（EHR）と健康記録（PHR）を取り入れているのは、唯一「とねっと」だけであった。**そのため、国立保健医療科学院（埼玉県和光市）より、「とねっと」の過去データ（平成30年度～令和4年度）を用いて、効果・検証を実施したいという強い要望があったため、現在、研究班により、継続的な検証を実施している。

【主な検証内容】

- （1）病院の「とねっと」に登録した糖尿病患者を対象に、自己観察項目（健康記録）が多い利用者と自己観察項目利用がなかった者、又は少ない利用者の臨床検査値（「とねっと」使用前と使用後の差）の比較
- （2）病院に搬送された患者を対象に、「とねっと」登録群、「とねっと」登録なし群の救急搬送時間の比較 など

効果・検証終了後には、協議会と国立保健医療科学院との共同名で学会発表や研究公表をする予定とのことであり、その結果は、協議会委員等には報告することとしている。

※ 国立保健医療科学院

厚生労働省の施設等機関

保健・医療・福祉に関係する職員などの教育訓練や、それに関連する調査及び研究を行う機関

小学校教材への採用

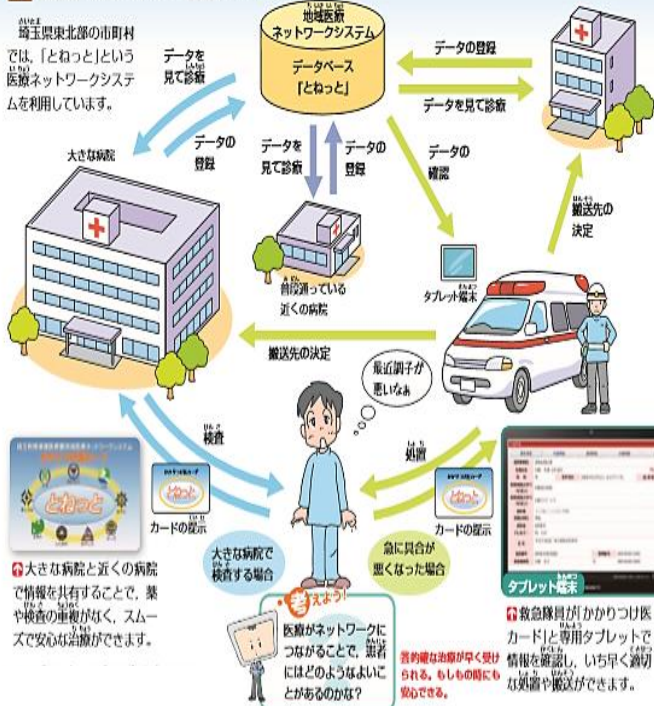
4

わたしたちの生活と情報

医療や福祉と情報ネットワーク

学習のテーマ
情報ネットワークは医療や福祉にどのように活用されているのでしょうか。

1 医療に生かされる情報ネットワーク



4

情報ネットワーク(医療)

医療現場で、情報ネットワークはどのように活用されているのでしょうか。

1 病院内のネットワーク

患者の情報をデータ化し、病院内で共有している病院があります。医師や看護士がすぐに情報を共有することで、病院全体で患者によりよい治療を提供できます。また、情報がすぐに伝わるようにするため、診察や会計などの待ち時間を短縮することができます。

病院での診察の様子

病院内でのネットワークのしくみ

- 会計
- 受付
- 検査室
- 待合室
- 診察室

患者の情報が登録されている電子カルテ

2 地域でのネットワーク(とねっとの例)

とねっとに登録されている情報を共有することで、それぞれの医療機関で何度も同じ検査をする必要がありません。また、検査をする設備の整っていない病院でも、新しく正確な情報を入手することができます。どの機関でも同じような治療を受けることができるので、患者さんも安心することができます。

とねっとは埼玉北部地域の7市2町で運用されている医療ネットワーク

情報を共有し活用することで、医療にとっても患者にとっても便利なくみになっています。

病院や関係機関が、患者の検査結果や治療をはじめ、病状や身振、体重などのさまざまな情報を共有しています。

3 緊急時のネットワーク(とねっとの例)



緊急時にも、医療ネットワークは活やくしています。患者の情報は「かかりつけ医カード」を読み取ることで、確認できます。緊急時に患者を搬送する救急隊員もそこで患者の情報を確認することができます。



かかりつけ医カード

達人に聞く!!



とねっとには、病状やアレルギーの情報、住所など、重要な個人情報が多く登録されています。そのため、情報は加入している本人と医療関係者しか見ることができません。また、いつでもとねっとを利用できるよう、データを登録しているサーバは、安全な場所まで正しく管理しています。

小学5年生への社会科資料集に2つの出版社が掲載

- 医療に生かされる情報ネットワーク (平成27年4月1日発行、平成28年4月1日発行)
- 情報ネットワーク(医療)の活用例 (平成27年4月1日発行)

国からの評価（モデル事例）

- 平成25年 4月 総務省「地域 I T C 利活用の成功事例」に採用
- 平成25年 9月 厚生労働省「救急医療体制の適正利用に関する先進的な取組事例」に採用
- 平成29年12月 厚生労働省「医療情報連携ネットワークピックアップ（モデル）事例」に採用

(参考) 「とねっと」整備等に係る埼玉県等からのご負担額 (平成22年度～令和6年度)

①地域医療ネットワークシステム「とねっと」整備費 (平成22年度～平成29年度)

1-1 「とねっと」構築費・保守費等 (単位: 円)

NO	項目	金額
1	地域医療再生臨時特例交付金 (構築費・保守費5年バック・事務局費)	640,561,700
2	県救急医療情報システム接続料	7,360,000
3	医療連携推進料	5,000,000
4	県立病院保守料 (H24年度～H28年度)	12,314,898
5	県立病院保守料 (H29年度)	5,442,696
6	構成市町保守料 (H29年度)	16,837,000
7	県救急医療情報システム接続保守料	6,161,555
8	県立病院接続料 (がんセンター)	7,350,000
9	加須市負担金収入 (在宅医療)	1,583,127
	合計	702,610,976

1-2 事務局費負担金 (単位: 円)

NO	年度	構成市町	医療機関 (医科)	合計金額
1	平成26年度	9,508,000	1,680,000	11,188,000
2	平成27年度	9,548,000	1,620,000	11,168,000
3	平成28年度	9,618,000	1,590,000	11,208,000
4	平成29年度	9,638,000	1,530,000	11,168,000
	合計	38,312,000	6,420,000	44,732,000

①合計金額 (単位: 円)	747,342,976
------------------	-------------

②地域医療ネットワークシステム新「とねっと」整備費 (平成30年度～令和5年度)

2-1 新「とねっと」構築費 (単位: 円)

NO	項目	金額
1	地域医療介護総合確保基金	310,500,000

(注) システム利用料は、平成30年度～令和4年度までの5年間は無料

2-2 事務局費負担金 (令和6年度は見込み: 財産処分前)

(単位: 円)

NO	年度	構成市町	医療機関 (医科)	歯科	調剤薬局	検査施設	圏域外住民	圏域外医科	圏域外歯科	圏域外調剤薬局	合計金額
1	平成30年度	9,667,000	1,580,000	80,000	270,000	50,000	—	—	—	—	11,647,000
2	令和元年度	9,628,000	1,570,000	100,000	300,000	55,000	11,000	—	—	—	11,664,000
3	令和2年度	11,238,000	1,550,000	100,000	400,000	50,000	7,000	60,000	—	10,000	13,415,000
4	令和3年度	11,238,000	1,500,000	100,000	420,000	50,000	2,500	60,000	—	10,000	13,380,500
5	令和4年度	11,238,000	1,460,000	90,000	400,000	50,000	2,000	60,000	10,000	10,000	13,320,000
6	令和5年度	9,238,000	1,320,000	80,000	350,000	50,000	2,500	40,000	10,000	10,000	11,100,500
7	令和6年度	2,964,000	—	—	—	—	—	—	—	—	2,964,000
	合計	65,211,000	8,980,000	550,000	2,140,000	305,000	25,000	220,000	20,000	40,000	77,491,000

2-3 システム利用料 (令和5年度) (単位: 円)

NO	項目	金額
1	行政法人埼玉県立病院機構 システム利用料	3,247,200

(注) システム利用料10,164,000円のうち、構成市町分 (7,972,800円) は事務局費の繰越金で充当

②合計金額 (単位: 円)	391,238,200
------------------	-------------

①+②合計金額 (単位: 円)	1,138,581,176
--------------------	---------------

協議会解散に至った理由 1 / 2

※ 全国のネットワーク団体等から「とねっと」の今後の課題（事業の継続）に対して、事務局が過去に回答したものなどからとりまとめたものです。

● システム更新・運用費用の財源の確保に難しさがあったこと。

- * サース化といえども、システムの更新には少なくとも2億円の財源が必要となる。それに合わせ、運用費用が毎年1.5千万円弱かかり、こうした費用を誰（国、県、参加医療機関、自治体）が、どのように負担するかという財源の確保・調整が非常に難しかった。
- * 埼玉県からは運用費用はもとより、「とねっと」の3回目の更新費用も自らの団体で措置されるようにとのご意見もあった。
- * システムに要した費用に対して、効果（メリット）が明確に提示できなかった。

● 圏域内の参加住民・患者や参加医療機関数の伸び悩みがあったこと。

● 圏域外の参加医療機関数（参照のみ）の伸び悩みがあったこと。

● 圏域内から少なくとも東京、栃木、茨城などの近隣都県を巻き込んだ上での県全域でのシステム化に至らなかったこと。

● 参加者のニーズを見据えたシステム機能（使い勝手）の改善が図られなかったこと。

- * システムは作ることが目的ではなく、いかに利活用されるかがポイントである。このため、医師や利用者に活用され、住民に効果（メリット）として還元され、住民の医療に対する安心感が得られるシステムにすることがより必要であった。

● 医療機関相互での診療情報の共有化の促進に至らなかったこと。

- * 中核病院や調剤薬局との診療情報の共有は可能となったが、一方、診療所との診療情報の共有化（双方向性）には至らなかった。

- 事業の周知、普及にあたり、圏域内での市町・医師会において、「とねっと」事業の推進にあたり温度差があったこと。
- 「とねっと」事務局機能の質的充実が図られなかったこと。
 - * 現職員は、臨時職員を含めて2名中、企画・立案部門は1人で対応しており、限界があった。

埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会事務局
〒347-0031
埼玉県加須市南町5-15（埼玉県加須保健所内）
T E L : 0480-63-0003
F A X : 0480-63-0033
E-mail : tonet@rhythm.ocn.ne.jp

【業務引継ぎ市】

埼玉県加須市健康スポーツ部いきいき健康医療課
〒347-0061
埼玉県加須市諏訪1-3-6
T E L : 0480-62-1311
F A X : 0480-62-1158
E-mail : iryou@city.kazo.lg.jp